

大阪消防

OSAKA SHOBO

平成29年

11

月号

No.812



都会のオアシス 観光ビル 大東洋

9F 中華料理 大東洋 最大270名

7F カプセルホテル (男性専用)

6F メンズサウナ&スパ

5F 天然温泉『萬の湯』地下1000mより

4F 本格派サウナ『ロウリュ』実施!

3F カプセルホテル (男性専用)

2F WEB予約がお得! 好評快眠カプセル

B1 レディースサウナ&スパ

B2 岩盤浴*豊富なリラクゼーションMENU

併設 梅田バッティングドーム リアルピッチャー!



団体割引適用で割安!

※③を除きます



～消防人生をずっと補償～

いざという時のために!

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 のための 保険

①

団体割引適用

30%

消防職員医療保険

医療保険基本特約付・疾病保険特約
・傷害保険特約セット 団体総合保険

募集時期 ■ 7～8月 2～3月 2～4月 (新採用プラン)

②

団体割引適用

30%

消防職員傷害保険

総合補償特約セット
普通傷害保険・家庭傷害保険

③

年間保険料

3,200円

消防職員賠償責任保険

公務員賠償責任保険 (消防職員危険担保特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料支払に関する特約条項)

募集時期 ■ 12～2月 7～8月

④

消防職員がん保険

団体総合生活保険 (がん補償)

団体割引!

20%

募集時期 ■ 12～3月

⑤

消防退職者医療保険

団体総合生活保険 (医療補償)

団体割引・損害率による割引適用

約40%

募集時期 ■ 12～3月

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。



全国の消防職員・ご家族の皆様とともに
全国消防保険サービス株式会社

一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店



〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階 TEL.03-3234-1331 (代)

引受保険会社 ・ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社

SJNK16-15096 (2017.1.11)
16-T23331 (2017年2月作成)



西消防署長

酒井

賢二

耐雪梅花麗

「雪に耐えて梅花麗し」と詠むこの漢文は、日米通算200勝を挙げ、昨年広島東洋カープを引退した黒田博樹投手の座右の銘で有名になりましたが、元々は、来年の大河ドラマの主人公である西郷隆盛が日本を離れ、慣れないアメリカで頑張り、苦勞するであろう甥の市来政直に送った漢詩の中の一節です。

梅の花は、寒い冬を耐え忍ぶことで、春になれば一番麗しく咲く、という意味で「苦勞や努力無くして栄光や成功はない」また「苦勞や努力があるからこそ成し得た時の喜びも大きい」ということだと思います。

コンマ1秒を縮めるために多くの時間を費やし、多くの汗を流す、警防技術練成会や救助技術練成会、消防法令等の違反是正を進めていくために、幾度となく関係者のところへ足を運ぶ地道な努力など、私たち消防の世界でも『耐雪梅花麗』に相通じるものがたくさんあるように感じます。このような苦勞や努力は、必

ずやその人を成長させるといいますし、何よりもその終点、つまりアウトカムは市民生活の安心安全性の向上に繋がるものだと確信しています。

日々の警防訓練や救助訓練、立入検査ばかりでなく、多種多様な消防業務で流した汗は、決して無駄ではなく、大阪の安心安全という花を咲かすために注がれているということを確認し、職務に邁進していかねばならないと、この文書を書いていて、私自身、改めて心に刻み込みました。

『耐雪梅花麗』 安心安全という花を1つでも多く、さらに、末永く咲かすために。



指定消火隊発隊並びに特別救助隊の 任務変更に伴う救助隊技術確認訓練

9月8日・9日
高度専門教育訓練センター

◇指定消火隊発隊に伴う救助隊技術確認訓練

超高齢化に伴い建物事故（室内で動けない、安否確認）が大幅に増加し、地理的な要因で救助隊の到着が5分以上かかる地域や救助事案多発地域において災害出場中で到着に時間がかかる地域の対策として、救助装備を積載したST車両を強化有効活用して8隊を発隊した。



◇特別救助隊発隊の任務変更に伴う救助隊技術確認訓練

今後発生が予測される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応強化のために、航空救助任務を解く城東ARと大正AR2隊を大規模災害・機械事故等の所轄事務は残してBRに再編して6隊とし、西日本で大規模災害発生時に大阪府隊として3隊が派遣された場合でも、市内において大規模災害が発生しても3隊が残っているので対応が可能になる。



第102回初任教育修業式

9月26日
大阪府立消防学校



第152回辞令交付式

10月2日
大阪市消防局講堂



第103回初任教育入校式

10月5日
大阪府立消防学校



めざせ！子ども救命士！チャレンジラリー2017

9月3日
大阪市立阿倍野防災センター

「お子様と一緒に、119番通報や応急手当を楽しみながら学べるイベントに参加しませんか？こども救命士をめざして任命証をゲットしよう！」と、救急医療週間に、子ども達に心臓マッサージや三角巾を使った応急処置を体験してもらった。



第102回新任教育実科査閲

9月26日
大阪府立消防学校

修業式を前に6か月間培った訓練礼式、救急・消火・救助訓練の成果を来賓はじめ父兄の前で披露した。



表紙：大念佛寺／編集部

01	この日は	耐雪梅花麗	酒井賢二
02	グラビア	指定消火隊発隊・特別救助隊任務変更に伴う技術確認訓練	編集部
03	グラビア	修業式・辞令交付式・入校式	編集部
04	グラビア	ちびっこチャレンジラリー2017・実科査閲	編集部
05	コンテンツ		編集部
06	いらしやい、大阪消防です!	疋田 達矢さんを訪ねて	編集部
09	ニュースカプセル	一休と碧梧桐	藤井英一 イラスト・山田いつか
10	スポーツ・ア・ラ・カルト	米国スポーツ界の混乱 分断社会を象徴するよう	北村弘一
12	レスキューナースからのメッセージ(20)	日々進化する防災	辻直美
13	救急安心センターおおさかだより		救急課
13	災害概況		警防課
14	コマンドアイ	救命の連鎖～救命連携活動奏功事例～	救急課
16	調査鑑識	電子レンジの火災について(2)	調査鑑識
18	特集	方面隊のあゆみ(2)～大火をひも解く～	方面隊
20	第46回全国消防救助技術大会	出場隊員コメント	警防課
24	キセイカナビ	「屋内消火栓設備」について～昇任試験対策編～	規制課
25	環状線		各所属
32	大阪の消防NEWS	東大阪市・豊中市各消防局・忠岡町・島本町各消防本部	
34	職務①	ホース・防火衣の乾燥用設備について	施設課
36	職務②	大阪市火災予防条例の解説(55)	規制課
38	職務③	救急医療功労者表彰式典	大阪府下消防長会
40	自衛消防隊紹介		港区
40	女性防火クラブだより		生野区
41	大阪市消防局災害活動支援隊	金澤 宏計	総務課・警防課
42	大阪市防火管理協会からのお知らせ		編集部
43	おもしろ体力測定(No.10)	立ち幅跳び(瞬発力・跳躍力)	高度専門教育訓練センター
44	健康ダイアリー	減塩のすすめ	人事課
45	親睦会だより	平成29年度親睦会水泳大会	大阪市消防職員親睦会
46	功績表彰		人事課
48	大阪めぐり(表紙)・編集室		編集部

小倉 淳史さんからの紹介 『 足田 達矢さんを訪ねて 』

工芸との出会い

神社仏閣のお道具製作を生業とし、私で三代目です。家業の修行の為に、東京の仏具店の工房で働いていたころ、私の師匠でもある櫻井久明(きゅうめい)先生が作品を納品にいられた先生と出会いました。先生が作品の修復に行かれるのに私も同行させて貰った車の中



● 木竹工

ひき た たつ や
足田 達矢

プロフィール

1964年 京都市生まれ
大学卒業後、神社仏閣のお道具制作(厨子・机など)を継ぐため東京に修行に出る。3年半の修行を終え3代目として工房に入り、工房は京都の西山に構える。家業の製作では東大寺、薬師寺、知恩院本山、春日大社などの国内外の寺院仏具を手がける。修復では、知恩院本山、百万遍知恩寺、奈良の唐招提寺など国内の寺院仏具も多数携わる。日本工芸会に所属し作家活動も行い、東京では櫻井久明氏に師事し、重要無形文化財保持者の中川清司先生にも師事。平成5年より作家活動に入る。

- 受賞歴**
- 第22回 日本伝統工芸近畿展 京都新聞社賞
 - 第25回 日本伝統工芸近畿展 京都新聞社賞
 - 第26回 日本伝統工芸近畿展 日本工芸会近畿支部長賞
 - 第32回 日本伝統工芸近畿展 京都市教育委員会教育長賞
 - 第33回 日本伝統工芸近畿展 奨励賞
 - 第11回 日本伝統工芸木竹展 日本工芸会賞
 - 第37回 日本伝統工芸近畿展から特待出品になる。
 - 第42回 日本伝統工芸近畿展より 鑑査・審査委員に就任
- 現在、日本工芸会近畿支部 木竹部会部会長
近畿支部常任幹事 日本工芸会正会員

で工芸の話が出て、「日本伝統工芸展を日本橋の三越に見に来なさい」とお聞きして、展覧会に伺ったおり、重要無形文化財保持者(人間国宝)に指定を受けられる前の大坂弘道先生に出会い、その作品に感銘を受けました。その時の光景は、今でも脳裏に焼き付いています。私もこんな作品を作りたいと、日本伝統工芸展に出品するよ

うになりました。

三年間の修行を終えて京都に帰って来た折、櫻井先生の兄弟子で人間国宝の中川清司(きよつぐ)先生からは技術を、染織の京友禅の人間国宝、森口華弘(かこう)先生には工芸会の歴史を学びました。

あらゆるものにアンテナを……

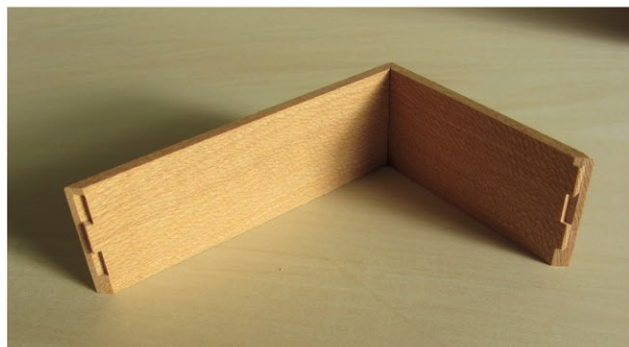
華弘先生に教えられ



神代櫛手箱



神代櫛手箱の内部



たのは、「漫然と町を歩いていたらあかん。風景や建物から作品のイメージになるヒントもあるとお聞きし目から鱗でした。色んな物が作品のヒントにつながると感じました。

先生の作品の中には散髪屋の回転灯、修学院離宮の飛び石からヒントを得て制作した作品もあるそうです。

旅行に行っても、町内を歩いていてる時でも、常にアンテナを立てていますと、必ずあると思います。中には作品にならないものもあります。枕元にノートを置いており、思い付いたら書き留めるようにしています。

発想を大切に

技術的なことは、家の仏具製作の彫ったり削ったりする事で身に付きますが、発想はついて来ません。工芸会に入会し24年になります。最初の頃の作品と比べますと色々な技術が身に付いています。発想も24年の経験から工夫もできますが、作品の形や色を思い浮かべて描いた図面も何年分もストックが出来、材料も揃っています。

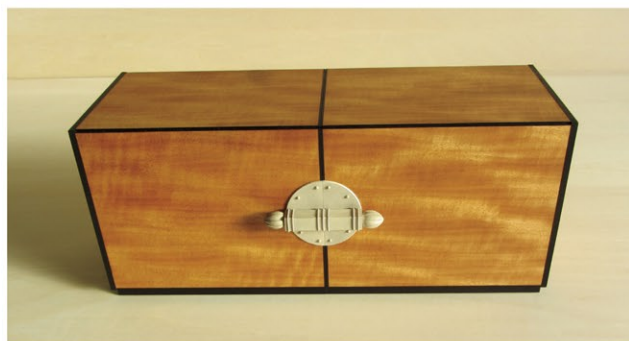
ますので、あとは作品にして行かなければと思っています。

朝8時から夕方6時まで、家業の仕事をしながら、立ちかけている木を見ながら木目や色等、作品のイメージを常に思い描いています。午後6時に仕事が終わって、1時間休憩して、19時から23時頃までが作品作りに当たっています。

表面処理は生漆を主に使用しています。素木（しらき）の木目の美しい物でも、生漆を塗ると茶褐色になり本来の木の色が消えてしまします。木の本来の色を生かすような仕上げもしています。

手間を惜しまず

作品づくりの接着剤は、むぎ漆（漆に強力



サティンウッド小箆笥(雲海)



雲海の内部

粉を混ぜる)をつくってボンドの代わりに使います。乾くと硫酸を掛けても溶けず酸系には強いです。

生漆をへらで塗って木に漆を浸み込ませて綿布やモスリンで拭き取ります。漆は湿度を上げることのできるまです。完全に乾いたら、耐水ペーパーの粗さが240番、320番・1000番位まで使用し水研ぎ作業を繰り返します。そして20数回生漆を塗っては研ぐ作業を行います。

審査の時は濃くても会場に並べる頃には漆が木に浸透し透けてきますので少し濃い目に仕上げられるのも長年の勘です。

どのくらいの光沢にし半艶、艶消しに仕上げると加減というのは10年〜20年くらいの経験

を積まないとかかりませんから、展示会場の木工の表面処理を見て頂くと、光沢や色が作家によって違いがあるのが分かり個性が出ていると思います。

将来に向けて

元来の指物は直線的な作品が多いですが、数年前から曲線を取り入れた作品づくりにもチャレンジしています。

金具も自作で

金工を5年ほど教わり、今では作品の金具も自分で作っていますので、その作品に合った金具を作れるようになり、一つの世界を創る道程として、引き出しが一つ増えました。

木竹工部会の為に

部長長になってからは年2回の従来の研究会にプラスチックファインダーの作家に講演をお願いしています。

伝統工芸展への出品希望者には会員以外でも研究会に参加していただき出品に繋げる試みも行っています。

これも皆さんのご協力があり木竹部会の会員数が徐々に増えていきます。

これからも工芸会のため、木竹部会のためになる良い試みをしていきたいと考えています。



朴拭漆箱(en priere)



en priereの内部

コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第 43 回

一休と碧梧桐

◎コラムニスト 藤井 英一

お宝 2件と再会

20年も空き家にしてある富山の留守宅をこの秋に整理中、懐かしいお宝が出てきた。くすんだ木箱に入った一休の掛け軸、そして俳人・正岡子規の高弟の河東碧梧桐（かわ・ひがし・へき・ご・とう）の短冊。

いずれも年長の畏友からのプレゼント。いただいた当時にタイムスリップしながら、再会したお宝を凝視。片付けの手がピタリと止まり、家族に叱られた。

すがすがしい軸

軸装された一休の掛け軸には、「漁父生涯竹一竿 一休」と細字で書かれてある。竹竿一本で人生を生きたすがすがしさが伝わってくる。耳元にさらさら流れる清流の音が聞こえてくる、滋味深い作風。一休が生きた室町中期。軸を見ていたら、権力者への「忬度（そん・たく）」や「ご意向」が大手を振ることこのころの日本が、妙に恥ずかしくなる。

色鮮やか自然の香り

碧梧桐の俳句も毛筆で、「夢をぬく 根の白け深さに 堪ぬ碧」とある。そして「碧梧桐」の落款（らっ・かん）。雅号の「碧」が句の最後に盛り込まれている、自然の香りが色鮮やかに伝わってくる作品。

一休作品は年長の苦勞人、碧梧桐作品は書家が元の所有者。ともに、仕事上の縁でお付き合いさせていただき、仕事を離れても交流が続いた間柄。そういえば、お宝の作者と贈り主の風情がどこことなく似ている。

芸術の秋。宝塚の現住の家に持ち帰り、大切にしなければと、誓う。



イラスト：山田いつか

米国スポーツ界の混乱 分断社会を象徴するよう

毎日新聞大阪本社編集委員

北村 弘一

トランプ政権と米国スポーツ界の溝がかつてないほど深まっている。

9月に入って、プロフットボールNFLの試合前の国歌斉唱の際、起立せずに片膝をつく行動が急速に広がった。警察の人種差別などに抗議する意思表示だが、24日に全米各地で開かれた試合では過去最多の150人を超える選手が膝をついた。広がる抗議行動にトランプ大統領は敵意をあからさまに示して、当面収束の見込みはなさそうだ。

トランプ大統領は22日の南部アラバマ州での演説で、片膝をつく行動をした選手を念頭に「国旗に敬意を示さない畜生は、クビに

しろ」とののしった。さらにツイッターでも連日のように取り上げ、25日には「片膝をつく行動は人種問題とは関係ない。我々の国家と国旗、国歌の尊厳に関することだ。NFLは敬わなければならない」と主張した。

発端は、昨年8月にコリン・キャパニック(昨季までフォーティナイナーズに在籍)が取った行動だった。試合前の国歌斉唱でベンチに座ったまま立ち上がらず、起立を拒否。「黒人や有色人種への差別がまかり通る国に敬意は払えない」と理由を述べた。

表現の自由や愛国心だけでなく、プロスポーツ選手の政治的主張の是非などを巡って、国内世論も分かれ

ている。膝をつく選手に賛同を示す意味から、起立する選手が肩を組む光景もあれば、国歌斉唱時に両方のチームがフィールドを離れて試合開始前のセレモニーをボイコットした試合では、観客席からは歓声とブライングの両方が上がった。

黒人、ヒスパニック、アジア系など多様な人種で構成する米国のプロスポーツ界。イスラム諸国からの入国禁止を唱えるトランプ政権が誕生すると、さまざまなる形で抗議のメッセージを送ってきた。

政権誕生直後にあつた昨季のNFLスーパードラフトでは、歌手のレディー・ガガさんがハーftimeショー

で、入国禁止の大統領令などで混乱する現状を意識したパフォーマンスを披露し、社会の分断が懸念される中で一体感を訴えた。また、スーパーボウルを制したニューイングランド・ペイトリオッツの選手・スタッフが大統領を表敬訪問した時は、トランプ氏の政策に反対する選手ら26人が欠席した。

さらに今年9月、プロバスケットボールNBAの昨季王者ウォリアーズは、優勝チーム恒例のホワイトハウス訪問と大統領表敬を取りやめた。NFLでの抗議活動の広がりに対するトランプ大統領の政治姿勢を批判したステフィン・カリーに対し、大統領が「招待しな

PROFILE ● きたむら・こういち
毎日新聞大阪本社編集委員。
1964年滋賀県生まれ。東京運動部時代に2002年サッカー・ワールドカップ日韓大会を取材。秋田支局次長、北海道報道部副部長、鳥取支局長などを経て、今年春まで大阪運動部長。趣味はマラソン。

い」とツイッターで表明したことを受け、チームの総意として決定した。

一連の騒動は、米国内で深刻化する社会の分断を象徴する出来事のように見える。

オリンピック史上、最も強い人権メッセージとして記憶される、ある出来事を思い出す。米国が公民権運動で揺れるさなかに行われた1968年メキシコ五輪。陸上男子200メートルで優勝したトミー・スミスと、3位のジョン・カーロスは、米国歌が流れ、星条旗が掲揚される間、壇上で首を垂れ、黒い手袋をつけた拳を空へと突き上げた。米国オリンピック委員会は2人を大会から追放。帰国した2人はメディアからの非難、中傷にさらされ、殺害を予告する脅迫文も届けられた。しかしその後、2人は名誉を回復し、コーチとして陸上界に復帰したスミスは全米陸上競技殿堂入りした。

その陰で一生を不遇のまま終えた選手がいた。このレースで2位に入ったオーストラリアのピーター・ノーマンだ。スミスらの行動に同意したノーマンは、表彰台で2人と同じく「人権を求めるオリンピック・プロジェクト」のバッチを着用した。ノーマンは白豪主義思想が色濃く残るオーストラリア社会でこの行動を問われ、1972年のミュンヘン五輪の出場資格を得たにもかかわらず、代表からは除外された。ノーマンは教師や肉屋などの職を転々とし、うつやアルコール依存症に悩まされるなか、2006年に64歳の生涯を終える。葬儀ではスミス、カーロスが参列し、棺を担いだ。

彼の生涯はその後、ドキュメンタリー映画「サリュート」として、世間に知られることになる。作品は国内外の映画賞で高い評価を受けた。オーストラリア政府はノーマンの死から6

年後、公式に謝罪する。謝罪文には、「スミスらの行動に賛同したピーター・ノーマンの勇敢さを認め、敬意を払う」と記された。

黒人や有色人種に対する差別が社会でまかり通っていた60年前と、ナショナリズムや自国第一主義の台頭で社会の分断に直面する現代。いずれの時代にも、危機感を行動で示したスポーツ選手一人ひとりの勇氣に強い敬意を感じている。そのうえで、分断をあおる

年後、公式に謝罪する。謝罪文には、「スミスらの行動に賛同したピーター・ノーマンの勇敢さを認め、敬意を払う」と記された。黒人や有色人種に対する差別が社会でまかり通っていた60年前と、ナショナリズムや自国第一主義の台頭で社会の分断に直面する現代。いずれの時代にも、危機感を行動で示したスポーツ選手一人ひとりの勇氣に強い敬意を感じている。そのうえで、分断をあおる

トランプ氏 vs スポーツ界

歌斉唱巡り

大統領、「国を侮辱」批判

選手 差別抗議

トランプNO150選手

人種差別抗議

NFLの試合で広がるトランプ政権への抗議行動を伝える新聞各紙



レスキューナース

国際災害レスキューナース
辻直美

からのメッセージ

Vol.20

日々進化する防災

福島原発メルトダウンの際、建屋に覆いをかぶせていたのを覚えていますか？あの覆いを作ったのは「太陽工業」という膜建造物で有名な会社です。

太陽工業は防災テントや、煙体験などに使用するテントなども作成しているので、消防士の方々にもご存知の方もいらっしゃるかもしれません。

その太陽工業が作成したものに「デルタチューブ」というものがあります。



可搬式特殊堤防「デルタチューブ(三角水のう)」

遮水性の高いシートを用いて製作した三角形の長い袋体を堤体の上に伸ばして敷置し、その後袋体の中に水を注入することで堤防からの越水を防止する、これまでの土のうに代わる水防ツールです。折り畳んで収納・移動ができる軽量さと迅速に設置できる簡易性、そして越水や浸水を防ぐ水密性を兼ね備えたモバイルレビーです。

最近では地震の災害より水害の方が多く、前もっての準備がきちんと出来ていたらかなりの被害は抑えられるのではないかと思います。

水害時に怖いのは河川の氾濫。これには土嚢が今まで使われてきましたが、作成にも設置にもかなりの人員と時間がかかります。

どうでしょうか？こんなにもコスパがよいのに、世の中に知られていないがために使われていないのが残念です。この他にも、進化した防災グッズが沢山あるのに、知られていない事が悔やま

れて仕方ありません。

2013年1月31日、デルタチューブは財団法人日本消防設備安全センターより、「消防防災製品等の推奨」の認定を受け、洪水時、堤体上や浸水箇所に敷設することで止水壁を構築し越水・浸水を防ぐ水防資機材で、消防防災分野でその利便性、効率性や安全性の向上に寄与するものとして認められました。

消防防災製品等推奨]を取得した対象品は、大型の「A-80」と標準型の「A-50」の二種類で、従来の水防工法で使われる「土のう」は、充填材の準備や製作・設置に時間と労力がかかり、使用後ほとんど廃棄されますが、三角水のう「デルタチューブ」は、以下(商品説明参照)。

『デルタチューブ』は、一般社団法人リバーテクノ研究会が2年半の歳月を費やして開発したモバイルレビー(可搬式特殊堤防)のノウハウを反映し、製品化したものです。

標準型:品番 A-50

幅1.2m×高さ0.6m×長さ6m/適用水深:50cm
素材、ポリエステル繊維+塩化ビニールコーティング素材
重量/容積 重量 約30kg/容積 約2.5m³(約2,500L)

大型:品番 A-80

幅2m×高さ1m×長さ4m/適用水深:80cm
素材、ポリエステル繊維+塩化ビニールコーティング素材
重量/容積 重量 約30kg/容積 約4.4m³(約4,400L)

財団法人日本消防設備安全センター付いては、(理事長:襲田正徳)は、総務省消防庁所轄の財団法人で、消防法施行規則に基づき各種の資格者講習を主催。他にも消防防災用設備・機器の認定業務を行っており、これらの取り組みを通じて国民の生命と財産を護っておられます。

財団法人日本消防設備安全センター ウェブサイト:

<http://www.fesc.or.jp/>

一般社団法人リバーテクノ研究会は、三角水のう「デルタチューブ」にはリバーテクノ研究会(会長:中川博次京都大学名誉教授)が開発したモバイルレビーのノウハウが反映されています。当研究会は増大する河川災害に対抗する技術の開発を目的として、太陽工業(株)を含む21のメーカー・設計事務所が会員として活動している団体です。

一般社団法人リバーテクノ研究会 ウェブサイト:

<http://rirt.or.jp/>

三角水のう「デルタチューブ」製品サイト:

<http://www.taiyokogyo.co.jp/delta/>

この件に関するお問い合わせ先は、
太陽工業株式会社 国土環境エンジニアリングカンパニー
03-3714-3361 もしくは 06-6306-3033

このように、日々進化していく防災グッズを、現場に働く皆様にもっと知っていただきたいと思っています。

【土のうとデルタチューブの設置時間比較】

設置高さ約45cm、長さ12mあたり 作業員2名

	土のう PE製 長さ40×幅35×厚さ15cm 重さ約30kg(中詰時)	デルタチューブ A-50 長さ6.0×幅1.2×高さ0.6m 容量25m ³ (乾重30kg)
必要数量	約200個	2体
製作時間	約3時間	-
設置時間	約2時間	連結約5分、注水約15分
合計	約5時間	約20分

標準型の『デルタチューブ』は、土のう積みと比較して約15分の1の時間で設置できます。

実作業をもとに算出した概算値です。

※ 吐出量約0.3m³/分(300ℓ/分)のエンジンポンプ使用時

【土のうとデルタチューブの設置に必要な人員比較】

設置高さ約45cm、長さ12mあたり 作業時間20分



土のう積みで30人必要なところ、標準型の『デルタチューブ』は2人で設置できます。



今月は、救急安心センターおおさかに相談後、119番に転送され救急搬送された事例のうち、高齢者のけがで発生頻度が多い「骨折」についての事例をご紹介します。



【事例】

76歳女性：浴室で誤って転倒し、右腹部を負傷した。
⇒右肋骨骨折

これは昨年11月頃の事例で、看護師からの迅速な119番転送により救急搬送されましたが、病院搬送後の適切な治療により、外来処置のみで帰宅することとなりました。

～救急安心センターおおさか から～

「高齢者の骨折」の特徴は、若年層と比較して、体に大きな外力が加わらないちょっとした受傷でも発生しやすく、また骨粗しょう症があると尻もちをついただけでも、容易に脊椎圧迫骨折を起こすとともに、骨折以外の合併症についても併発しやすい傾向にあります。

季節別では、これから日に日に寒さが増し厚着となる冬にかけて多く、受傷場所別では、居室内が最も多いことから、衣服を散らかさないなど室内の整理整頓や滑り止めを取り付けるなど転倒しない工夫にも心がけてください。

また、痛みなどの自覚症状を受傷直後から訴えない、あるいは我慢するケースがしばしば見られることから、転倒等により受傷した場合は、歩行等ができなくなるなどの重症化を防ぐため、受傷部位の異変に十分注意し、少しでも異常を感じたら「救急安心センターおおさか」等を活用するなど、早期の対処に心がけてください。



大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ほや						
9月中合計	0	0	9	39	48	3	0	0	14	65
平成29年9月末累計	10	17	118	345	490	44	1	1	155	691
平成28年9月末累計	17	16	117	304	454	44	0	3	117	618
累計比較	▲7	1	1	41	36	0	1	▲2	38	73

◎救急概況

	救急出場
9月件数(概数)	17,846
平成29年9月末累計	170,783
平成28年9月末累計	167,830
累計比較	2,953

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成29年9月末累計	2,278	764	3	926
平成28年9月末累計	2,359	849	9	921
累計比較	▲81	▲85	▲6	5

今回のテーマ

救命の連鎖 救命連携活動奏功事例

はじめに

救急事案において、従来の高速道路上等での支援活動及び人的補助等を主とした消防隊が行う救急隊との連携活動に、心肺機能停止傷病者の救急要請時に自動体外式除細動器（AED）を積載する消防隊が救急隊と同時出場し、早期の電気ショックを含む応急処置の実施及び救急隊の救急救命処置を支援する活動（以下、「救命連携活動」という。）が加えられ、平成29年6月から救命連携活動の運用が開始された。今回は心肺停止の救急事案に対して、指令係員、消防隊、救急隊が連携し、傷病者の救命に奏功した活動について紹介する。

災害概況

- 通報内容 「寝ていて、急に苦しみだした」 家人からの要請
- 覚知日時 8月上旬 0時46分
- 発生場所 共同住宅（マンション）2階
- 傷病者 50代女性
- 傷病程度 重症（到着時、心肺機能停止状態）
- 指令時刻
救急隊 0時46分（到着 0時54分）現場まで3.2km
消防隊 0時47分（到着 0時53分）現場まで1.0km



救急課 本部救急隊

入電状況

8月某日、熱帯夜特有の蒸し暑さの中、119番通報が入る。「母が寝ていて、急に苦しみだしました」指令員は通報者の声の状況から緊急性があり、早期に救急隊を出場させる必要があると判断。会話のスピードを速め、必要な情報を聴取。心肺機能停止状態と判断し、通報者に早期の胸骨圧迫の指示を行う。発生場所住所と緊急性が高いと判断した段階で救急隊に出場指令し、その通報を傍受していた他の指令員にあっては救命連携活動隊の出場指令や、出場隊に無線にて第二報を入れる。

現場到着前

「救急支援〇〇管内、●●消防隊は□□救急隊の救命連携活動隊として出場せよ。」
「先着するぞー」、直近の救急隊は現場まで距離があり、消防隊長は隊員に救命資器材の準備を指示、同時に指令情報センターより「家人により胸骨圧迫実施中」との一報が入る。自署管内の救急隊は出場件数が多く、救命連携活動

先着消防隊の活動

隊として出場した際に、消防隊が先着することが予想されるため、救命連携活動の運用開始前から消防隊が先着した際の活動要領について、事前に確認していた。

発生場所マンション前に車両を停車させた後、消防隊長は機関員に後着救急隊の誘導を指示、隊員2名と傷病者宅へ向かう。
発生場所居室内にて傷病者の夫は指令員の口頭指導によりベッド上で胸骨圧迫を実施していた。隊員は夫から傷病者を引継ぎ、すぐさま気道確保を行い初期評価を実施した。総頸動脈不触、死戦期呼吸（下顎呼吸）であったため、ベッド上から床へ移動しBVMによる人工呼吸および胸骨圧迫を再開するとともに、AEDパッドを貼付し、解析を実行。電気ショックが必要との結果であり、電気ショックを1回実施する。救急隊到着まで CPRを継続しながら、夫から事故概要等を聴取し、後着の救急隊に引継いだ。



救急隊到着後の活動

消火隊が到着してから1分後に救急隊が到着、先着消火隊長から事故概要を聴取しながら活動を開始する。救急隊長は長年の経験から「現場で必ず、ROSC※1する」と感じた。自隊のAEDに切り替え心電図波形を確認（PEA※2）。救急隊と消火隊が協力しながらCPRを継続し、救急隊は医師からの指示により特定器具による気道確保および静脈路確保を実施する。

自己心拍再開・ 自発呼吸出現

消火隊と救急隊が連携して、CPR、特定行為、搬送準備を同時進行で行い、消火隊によりCPRが開始されてから10分が経過した。「総頸動脈触知あり！」リズムチェックのため、傷病者の総頸動脈に触れていた救急隊長が各隊員に伝える。橈骨動脈も触知可能であり、自発呼吸も出現して続いた。その後、補助呼吸を継続し、布担架および屈折担架で搬出を行う。なお、自己心拍再開するまでに、消火隊、

救急隊により計3回目の電気ショックが実施された。

病院到着前の バイタル等

JCS-30（痛み刺激に開眼）
呼吸数20回/分
脈拍数100回/分
SpO₂ 97%（酸素投与下）
血圧にあつては体動があり測定できず。

予後

ICD（埋め込み形除細動器）施術され退院。後遺症なく日常生活に戻られたとのこと。

現場活動総括

○指令情報センターの係員の口頭指導により、バイスタンダーが早期にCPRを開始したこと。
○消火隊が確実な初期評価を行い、下顎呼吸（死戦期呼吸）、心肺機能停止状態と判断し、CPRの継続、早期の電気ショックを実施したこと。
○救急隊到着までの間、良質なCPRを実施しながら、事故概要、既往歴、通院状況（かかりつけ）等の聴取を行い、後着の救急隊長に引き継いだことにより、現場滞在時間の短縮が図られたこと。
○救急隊は救急救命処置を実施し、的確に傷病者を管理したこと。
これら早期からの継続的な処置が奏功し、救命につながったと思慮する。

まとめ

救急現場において緊急性が高ければ高いほど、医療機関に到着するまでの応急処置が傷病者の予後を決定づける大きな要因となる。病院前から医療機関に至るまでの過程では、必要な応急処置を医療と連鎖させて提供できなければ

救命につなげることはできない。特に心肺機能停止状態等の生命の危機状態に陥った傷病者を救命し、社会復帰させるためには「救命の連鎖」が必要不可欠となる。

今回の事例では、指令係員の口頭指導によるバイスタンダーCPR、消火隊による早期の電気ショック、引き継いだ救急隊による的確な処置、これらの「救命の連鎖」が社会復帰に繋がった。

救命連携活動の運用が開始され、先着した消火隊の活動が非常に重要となってくる。

良質なCPR、電気ショック、情報収集及び伝達等はもちろんのこと、一秒でも早く現場に到着して活動するとう意識を持つことが、傷病者の救命及び社会復帰へとつながる。

今回紹介した事例は救命連携活動としての模範的な活動であり、救える命を救うために今後とも連携を強化し、「救命の連鎖」をより強固なものとしていかなければならない。

（文責 太田）



ラッチスイッチの接触不良による火災以外でも、電子レンジで食品を過熱してしまい出火に至るといふ事例も発生している。加熱時間を誤って設定してしまい長時間食品が加熱されると、食品が炭化し燃え上がることがある。これは、揚げ物や芋類等が過熱すると、食品内部の水分が蒸発し食品が炭化するためである。

食品の過熱による火災

溶着していたものと思われる。また、ヒューズにあつては、上部の配線が火災熱により二次的に短絡した際に溶断した可能性が高い。所有者に質問したところ、使用中に扉を開けて食品の温まり具合を確認することが日常的にあつたとの供述を得ている。日常的にこの様な誤った電源遮断を行っていたため、ラッチスイッチの接点部分で接触不良が生じ火災に至つたものと思われる。

庫内の状況



炭化した芋類

扉内側の状況



(文責 稲田)

このような過去の事例の調査結果で得た知識を防火訪問等で市民にフィードバックして頂きたいと思う。今後も同様に火災事例を発信していくので、執務の参考とし、今後の火災予防に繋げて頂きたい。

実際に肉まんを長時間過熱する実験を行ったところ、加熱開始から約12分後に出火が確認された。設定時間を誤って設定し、過熱状態のまま放置すると、火災に至る可能性は十分ある。

火災事例2

寄宿舎の共同炊事場において、電子レンジ1台焼損。居住者が臭気で気付き、119番通報したものの、電子レンジの外観には焼きはな

く、庫内に炭化した芋類と思われる焼残物が見受けられる。また、庫内のターンテーブルは焼きし破損している。電子レンジの扉にあつても、内側に焼きが見分される。以上のことから、何者かが食品を加熱したまま、その場を離れたため、内部の食品が過熱され炭化し、出火に至つたものと思われる。

使用上の注意

電子レンジは火を使わずに食品を加熱できることから、安全だと思つている方も多いと思う。しかし、使用中に扉を開けるなど誤つた使い方をすれば火災に至る恐れが十分ある。特に自動ではなく、手動でタイマーをセットし加熱する場合には、設定時間に十分注意し、できるだけその場から離れない様にすること。

また、通常マイクロウエーブはガラスやプラスチックなどは透過するが、透過する度合いの少ない容器(スチロールやポリエチレンなど)を使用すると、電波を透過しないため、それ自身が発熱したり、スパークが発生し出火に至ることがある。他にも、金属の場合は、電波を反射してしまい周囲の食品から出火することがある。実際に大阪市内でも、電子レンジでの加熱

まとめ

電子レンジは身近な電気製品であるが、使用方法を誤ると火災に至る危険は十分にある。日常でついついしてしまいがちな行為が、実は火災に繋がる恐れがあることをしっかりと認識することが大切である。火災に至る危険があることを認識し、加熱する際には正しい容器を使用し、できる限りその場から離れない様に注意すること、また、扉を開ける際は必ずタイマースイッチで電源を切つた上で開放する様にするなど、使用上の注意事項を守って頂き、正しく使用するよう広く広報する必要がある。

方面隊のあゆみ(2)

大火をひも解く

司令課

はじめに

今年8月に創設50年を迎えた方面隊。

半世紀にわたる方面隊の軌跡は、幾度となく起こった『大火』との『闘いの軌跡』であると言っても過言ではない。

過去の『大火』といわれる火災は、我々消防人に様々な教訓を残している。その教訓を今後起こりうる火災時の活動の一助とすべく、本号から来年4月号にかけて今一度「大火をひも解く」ととする。

火災概要

覚知日時	平成22年7月25日
鎮圧時刻	平成22年7月26日 21時52分
鎮火時刻	平成22年7月26日 0時34分
焼損程度	23棟 1297㎡ 焼損 554㎡ 表面焼損
負傷者	なし
出場隊数	54隊

焼損程度 23棟 1297㎡ 焼損 554㎡ 表面焼損

負傷者 なし
出場隊数 54隊

夜空を染める紅蓮の炎

昼間の猛暑の余韻であるうか、身体に纏わりつくような蒸し暑さの残る夜、その火災は発生した。場所は市内東部、平野川分水路沿いの作業場である。

指令段階から「続報多数、高所カメラ情報火煙あり」さらに出場途上の小型タンク小隊から「走行中火煙あり！」の無線が報じられたことから、本件が炎上火災であることは容易に想像出来た。程なく、方面隊車が分水路に架かる橋に差し掛かったその時、眼の前に飛び込んで来たのは、夜空を

染める紅蓮の猛炎に全貌を包まれてしまっている鉄骨造スレート張の建物の姿だった。これまで目にした炎上火災の光景を遥かに凌ぐその様は、19線24口にも及ぶ筒先配備と複数の泡消火隊による懸命の消火活動にも関わらず、覚知から約14時間後の鎮火という大阪消防史に残る大火災への序章に過ぎなかつたのである。

衰えぬ火勢

火元である鉄骨造3階建の作業場は、場内貯蔵の危険物が起因したと思われる爆発的な燃焼により消防隊が到着して程なく、建物の基礎である鉄骨が湾曲し、屋根が崩れ落ち、建物全体が西寄りに座屈した。原型を留めない無残な有様は、基本戦術である屋内進入による消火はおろか、建物自体への接近すら出来ないという事態を招いた。

さらに、南側に隣接する紙製品を扱う作業場は、壁体が焼け落ちるほど強烈な火勢に炙られ、2、3階の室内へと延焼した。第3出場に及ぶ隊数を駆

使し、消火隊の懸命の筒先配備と転進により、これが出来たが、夜とはいえず、過酷な環境で放水・転進を繰り返す隊員の疲労はピークに達しようとしていた。そんな隊員に追い打ちを掛けるが如く流れた「火元にセルロイド多数あり。本物質は燃焼により有毒ガスを発生させる為各隊は面体を装着して活動せよ」という無線情報。火元の火勢は依然衰えを見せないなか、課せられた活動時の制約。誰もが厳しいと感じた状況の部長となつた方面隊長は現



第46回全国消防救助技術大会

出場隊員コメント

警防課

陸上の部
障害突破



消防司令補
石川 哲平 (中央)

「日本」…壁は思いのほか高かったです。全国大会の舞台に立ち、戦う事が出来たのも、中央消防署を始め皆さんの方々のご支援があつての事だと思っております。そして、長期間、同じ目標に向かって苦楽を共にしたチームメイトには本当に感謝しています。スティックでチームの大黒柱、最強の1番員近藤司令補。常にチームの事を一番に考えている泣き虫で優しいオカン、生島士長、手のかかる無尽蔵のムードメーカー森内士長、「成長」この言葉がびつたりの谷口士長。この最高のメンバーでひと夏過ごせた事を本当に誇りに思います。ありがとうございます。最後に多大なご支援を頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。



消防司令補
近藤 拓磨 (阿倍野)

でやっと全国大会に行けました。1年目、2年目は3位、3年目は惨敗。どうやったら全国大会に出場出来るか

ずつと考えながら訓練してきた7ヶ月間でした。そして迎えた近畿大会当日、チームで目指した通りの操法とタイムが出て1位を取ることが出来ました。今まで応援や御支援して下さいました。今改めて感謝して下さった方々に結果で恩返し出来て本当に嬉しかったです。全国大会では1位は取れませんでした。自分の中ではやりきった8ヶ月間でした。今まで応援して下さいました方々、そしてチームメイト、過去のチームメイト、本当に感謝しています。ありがとうございます。



消防士長
生島 竜也 (中央)

「日本」になる。心不乱に追い続けた目標でした。多くの困難を乗り越え、怪我等で一人も欠けることなく本番の舞台に立てたと、仙台の地で大声援の中で障害突破ができたこと、本当に幸せでした。日本一という目標を達成することはできませんでしたが、全国大会で負けたことや、目標に向けてチーム一丸となり一生懸命に取り組んできた経験を財産に、今後の成長に繋げたいとおもいます。また、訓練を通じて素晴らしい仲間と出会ったことが出来ました。この仲間には私にとって宝です。最後に本訓練に

関わって下さったすべての方々、すべての環境に感謝します。長期間本当にありがとうございます。



消防士長
森内 大樹 (阿倍野)

時が経つのは早く気づけば10年。何度チャレンジしても掴めそうで掴めない大阪代表の切符。今回ようやく手に入れ大阪代表として訓練に取り組むことが出来ました。初出場とは言え障害10年やってきたんや！他のチームメイトにも負けへんぞ！と挑んだ訓練でしたが、何度も近畿を経験している他の隊員との力の差は歴然で気持ちだけが先走り、精神的に苦しい事もたくさんありました。しかし、共に戦った近畿メンバー、指導員、阿倍野署員、そして今までの消防人生で関わった多くの人の指導、支えのおかげで全国大会当日まで走り抜くことが出来ました。皆さんに感謝するとともに、皆さんにして頂いたことを少しでも後輩に出来たらと思います。ありがとうございます。



消防士長
谷口 隆常 (阿倍野)

今回初めて近畿大会に出場することができ、右も左もわからないまま訓練に没頭した結果、なんとか全国消防救助技術大会の切符を手に入れることができました。チームカラーとして完璧な訓練を追い求めるのではなく、泥臭く目の前の勝利を勝ち取る訓練を続けて行くことで掴んだ

切符だと思っています。全国消防救助技術大会では1位を勝ち取ることはできませんでしたが、この悔しい経験を糧とし、また後輩に伝えることによってどの種目でもチームの大黒柱となるように僕が引っ張っていきけるチームを作りたいと思います。



消防司令補
國澤 淳恵 (住吉)

強化訓練に気持ちよく送り出して頂いた住吉消防署の皆様、強化隊員の強靱なバックアップをして頂いた警防課救助の方々、時に厳しく、時には優しくご指導して頂いた指導員の方々、そして疲れた自分を暖かく見守ってくれた家族には「感謝の気持ちでいっぱいです。皆様の支えがあったおかげで、大阪市消防局の代表として仙台の地で全国大会のスタートラインに立つ事ができました。しかしながら結果は惨敗となり、全国には多くの強者がいること、本番一発勝負の難しさを改めて実感しました。この厳しい現実と悔しさを忘れることなく、救魂魂と技術に磨きをかけ、来年の京都の地で自信をもってスタートラインに立てるよう精進します。最終目標、ほふく救出で日本一」



消防士長
吉川 祥 (住吉)

この半年間、終わってみれば本当にあつたという間でした。これまでとはひと味違う、とても濃密な時

間。正直、本番までの訓練中は、タイムも伸びず、身体も心も疲れ、何度も「自分は何のために頑張ってるんだろ」とこのまま続けても大丈夫だろうか」と悩みました。しかし、そんな時に常に明るく言葉をかけ、自分も疲れているのに、私の身体のことを考えてくれた家族や、訓練を終えて消防署に帰ると、「今日もお疲れ様！」といつも声をかけ、私の代わりに様々な業務の力や、少しでも負担を減らそうとじていただいた職場の皆様、たくさん支えてくれた人達がいたからこそ、今大会の猛者達との勝負に勝ち、全国の舞台へ立てたのだと、本当に感謝の気持ちしかありません。ただ、一つ心残りなのは、その全国の舞台でチームの力を出しきれず終わってしまったことです。感謝への恩返しと、自分達の更なる成長のために、もう一度同じ舞台に立ちたいと思います。その姿が、誰かの心を動かせるよう、そして、災害救助に繋がるよう、これからも日々汗を流し続けます。



消防士
池野 慧大 (住吉)
初めての近畿大会、

全国大会出場！とても大きく、貴重な経験をさせていただき、この訓練に参加でき本当に幸甚でした。各訓練種目の代表隊員と訓練させていただき、行動規律、訓練姿勢など改めて救助の難しさ、厳しさを実感しました。決して諦めない強い心、自分の体力や技術をよく理解することの大切さ。この訓練で得たことを無駄にせず、必ず今後の

消防人生、現場活動に活かしていきます。この訓練を終えて、住吉をはじめ、多くの方々に支えられてきたことを強く実感し、今、感謝の気持ちで一杯です。支えてくださった皆様、本当にありがとうございます！



消防士長
鳥越 道矢 (東成)

ロープブリッジ渡過
20mを行って帰ってくる、只々それだけのものにこれ程魅せられるとは。全国の舞台に立つまで約7年、勝つ喜びと負ける悔しさを繰り返してきたこの種目とも今回の全国大会をもって卒業しました。やりきった思いの反面、少しばかり寂しさを感じます。これまでの全てをぶつけた本番当日、結果は3位。悔いがないと言えれば嘘になりますが、あの様な最高の舞台に立つことができたということとは、本当に良い経験となりました。ここに至るまでは、一緒に切磋琢磨してきた仲間、そして数えきれない方々の支えがあればこそだということに胸に留め、これからは皆様方に恩返しできるように、私自身更にさらに成長していくよう頑張っていきます。



消防司令補
西川 敏也 (西)

ロープブリッジ救出
この気持ちが一番強い人間が日本一になる。チームリーダーとして最初にチームメイトに対して強く伝えたことです。この信念のもと、チーム一丸とな

り今年1月からの強化訓練に取り組んできました。しかし、その信念のみでチーム力がすんなりと上がっていかないところ、この訓練の難しいところ。指導員のみならず、他チームの先輩や後輩、他種目の隊員、強化隊員以外の署員の方々からも様々な事を学び、所属や強化訓練に携わる方々からの最大限のバックアップをいただき、チーム力向上を支えられていたのだと強く感じます。全国救助技術大会への出場資格を得てから、多くの方に激励のお言葉をいただきました。8月23日の本番の日には共に闘ってきた人達の顔が浮かび、スタートラインでの緊張感の中、精神的な支え、後押しになっていたことを私は忘れません。訓練を支えて下さった皆様、本当にありがとうございます。



消防司令補
三谷 延之 (淀川)

最高の指導員、最高の仲間達と共に、最高の訓練をさせていただきました。訓練を終えて、今一番強く感じているのは、人の温かさです。熱く厳しく、時に、さらに厳しく指導してくれる指導員の方々、猛暑の中、応援に駆けつけてくれる消防署の方々、他の種目の訓練を、本気で自分の訓練のように応援できる仲間達。本当に温かい人達に囲まれ、最高に熱い訓練ができたということと誇りに思いますし、そういった環境に身を置けたということに、本当に感謝したいです。また、素晴らしい仲間達と、かけがえのない絆を結べたこと

は、私の一生の宝物になると思います。長期に渡り、訓練を支えて下さいました皆様、本当にありがとうございます！



消防士長
榎木 誠 (淀川)

多くの方々に支えられ、全国大会という素晴らしい舞台に立てた事を感謝するとともに、このように舞台に立てた事を誇りに思います。今回の訓練を通じて、仲間との絆の大切さを感じました。全国大会までの道のりは長く、険しいもので、苦しい日々もありましたが、指導員のもと、仲間との強い絆があった事で乗り越える事が出来ました。そして全国大会への出場は職員の方々や家族の力添えがなければ成し遂げる事は出来ませんでした。長期に渡り、訓練を支えて下さりました皆様本当にありがとうございます！



消防士
森本 晃輝 (阿倍野)

ロープブリッジ救出の2番で出場しました阿倍野消防署の森本です。この1年間長いようで短く、とても充実した日々でした。この救助訓練で得た熱い気持ち、仲間との絆を忘れず、どんなときでも強い志をもって仕事をしたいと思っています。長期間御支援していただきありがとうございます！

し、大阪市の救助隊全体の強さにつながるのだと実感しました。また、本大会は一定の成果を上げることができましたが、何かを成就させるためには、必ず周りの方々の支援が必要だと感じました。本大会での成果は大阪市消防局の事務局をはじめ、指導員の方々と共に全国大会を目指した同志、そして所属の消防署の多大なる支援がなければ成り立ちませんでした。この何ものにも代えがたい経験と感謝の念は今後自分の立場が支える側になった時に、返して行きたいと考えています。



水中検索救助・複合検索 消防士長 松井 秀 (西成) 全国消防技術大会を

振り返ってみて、複合検索では日本一は取れませんでした。去年、一昨年から出場している、水中検索救助では3度目の挑戦でやっと日本一を獲得できました。この結果は所属や指導員、事務局の方々の多くのご支援や指導のおかげだと思っています。ありがたうございます。去年は自分の力不足や失敗でいい結果が出せなく、今年こそメンパーに迷惑をかけないように、自分の持っている力を出し、日本一になると心に決めて訓練をしていたので、決まった瞬間、感動し涙が止まりませんでした。この経験をこれからの消防人生に生かし、恩返しできるように所属での業務や現場でも活躍していきたいと思えます。

統括指導員



消防司令 谷内 成次 (西成) 平成29年度近畿地区

水上部強化訓練を迎えるに当たり、水上の部及び陸上の部各団体種目担当指導員の増員、陸上・水上それぞれ統括指導員に加え、両部門合わせての統括指導員の配置、と今までにない指導体制の強化が図られた。裏を返せば、ここ数年の全国大会出場隊員減少を嘆く声が大きかったからである。確かに、水上の部を除き、陸上の部における戦績は胸を張れるものではなかった。救助技術練成会を勝ち抜き、大阪市消防局の代表に選ばれた優秀な隊員が集結しているにも関わらず、「なぜ勝てないのか」「他本部の隊員に何が劣り、何が不足しているのか」、自分なりに自問自答した。明確な答えは未だ見つかれないが、個々の体力・技術を見る限り、全国でもトップクラスの実力をもつ強化隊員が本番で負ける理由の一つは、心の部分で何かが不足しているからだと思われる。それを補うためには、隊員の精神面の強化と指導員からの叱咤激励が不可欠であることは明白である。今回、陸上の部5種目、水上の部2種目、合計22名の隊員が全国大会出場を果たしたが、日本一を獲得したのは水上の部1種目のみであった。今回の強化訓練で、大阪市消防局を代表する強化隊員の底力はまだまだ未知数であることを確信した。来年度も強固な指導体制のもと、強化隊員の「心・技・体」を充実させ、「強い大消」を全国に知らしめて欲しいと切に願

う。最後に、多大なるご理解ご協力のうえ強化隊員を快く日々の訓練に送り出して頂きました各署の皆様方に、指導員代表として心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

陸上指導員



消防司令候補 梶野 修平 (生野)

私は今大会にロープブリッジ渡過の選手として出場するべく、昨年の選考会に出場しました。しかし、その選考会に敗れ「もう今回の近畿地区指導会に関わることはないだろう」と思っていました。そんな折、指導員の話をいただき、初めて指導員という形で大会に参加させていただくことになりました。当初は「選考会に敗れ、全国大会出場経験のない私が指導員をやっていいのだろうか」という葛藤がありましたが、必死に訓練をしていった選手の姿を見ていくうちに、そういった葛藤も次第になくなっていきました。本番が近づくとつれ変わってゆく選手の目つき、訓練への意気込み、熱意、気迫、それらが日に日に強くなっていくのを感じ、その姿を見て逆に選手からパワーをもらうことが多くありました。それを糧に更に指導に熱が入りました。そういったギブ・アンド・テイクの関係が選手と指導員の間でうまく出来ていたことが多くの全国大会出場者を出す結果につながったのではないかと感じています。昨年は自分が指導員になるとは夢にも思っていま

に戦えたことに心から感謝します。

水上指導員



消防士長 東園 絢也 (都島) 仙台市において開催

された、第46回全国消防救助技術大会「近畿地区指導会を突破した隊員達の熱い夏は、この日ピークを迎えていた。一方で、この日に至るまでの彼らが、どれだけ汗を流し、幾度となく訓練を繰り返してきたかをよく知っている私の緊張もピークを迎えていた。彼らに寄せる思いは、指導員としての思いだけではなく、自分自身が果たせなかった夢も入り混じり、彼らに託す思いは、より一層、強くなっていた。そして多くの声援の中、彼らは見事に宣言実行してみせたのである。あの日、皆の前で誓ったことを、そして私が強く願ったことを。大会結果だけをみれば、最高の結果を残せた部分もあるが、課題も多く残るものであったと、私は受け止めている。しかし、本当の成果は、これからであり、良かったことも、悪かったことも今後どのように活かすか、どう繋げていくかが大事であると思う。そして、この強化訓練の場が、これから先も、熱い夢を持った若い隊員の憧れの場であり、成長の場であり、多くの絆が生まれる場であり続けてほしい。最後に、指導員として素晴らしい瞬間に居合わせたい機会を頂いたことに感謝するとともに、長い強化訓練の期間中、強化隊員を支えて頂きました多くの方々

「屋内消火栓設備」 について ～昇任試験対策編～



キセイカ ナビ vol.53

From 予防部規制課



皆さん、こんにちは！今回のテーマは、消防用設備の「屋内消火栓設備」についてです。
問題を解きながら、一緒に勉強しましょう！

問題

問1 屋内消火栓設備の設置に関する記述について、次の()にあてはまる適切な数値を記入してください。

屋内消火栓設備は、次に掲げる防火対象物又はその部分に設置するものとする。

- (1) 消防法施行令別表第1(1)項に掲げる防火対象物で、延べ面積が(①)㎡以上のもの。
- (2) 別表第1(2)項から(10)項まで、(12)項及び(14)項に掲げる防火対象物で延べ面積が(②)㎡以上のもの
- (3) 別表第1(11)項及び(15)項に掲げる防火対象物で、延べ面積が(③)㎡以上のもの

問2 消防法施行令第11条第3項第2号口に規定する屋内消火栓設備(広範囲型2号消火栓)の設置及び維持に関する技術上の基準に関する次の記述について、次の()にあてはまる適切な語句又は数値を記入してください。

- (1) 屋内消火栓は、防火対象物の(①)ごとに、その(①)の各部分から一のホース接続口までの水平距離が(②)m以下となるように設けること。
- (2) 水源は、その水量が屋内消火栓の設置個数が最も多い階における当該設置個数(当該設置個数が2を超えるときは、2とする。)に(③)㎡を乗じて得た量以上の量となるように設けること。
- (3) 屋内消火栓設備は、いずれの階においても、当該階の全ての屋内消火栓(設置個数が2を超えるときは、2個の屋内消火栓とする。)を同時に使用した場合に、それぞれのノズルの先端において、放水圧力が(④)メガパスカル以上で、かつ、放水量が(⑤)リットル毎分以上の性能のものとする。
- (4) 水源に連結する加圧送水装置は、(⑥)に便利でかつ、(⑦)等の(⑧)による被害を受けるおそれが少ない箇所に設けること。
- (5) 屋内消火栓設備には、(⑨)を附置すること。

解答

答え1

- ① 500
- ② 700
- ③ 1,000

屋内消火栓設備の設置基準は、消防法施行令第11条第1項に規定されているよ！

答え2

- ① 階
- ② 25
- ③ 1.6
- ④ 0.17
- ⑤ 80
- ⑥ 点検
- ⑦ 火災
- ⑧ 災害
- ⑨ 非常電源

広範囲型2号消火栓は平成25年に追加されました。



環状線

大阪各署のホットニュースをお届けします



生野

IKUNO

JICA研修生が教える、消防訓練!

9月6日、大阪市立御幸森小学校において、アゼルバイジャン・エジプト・ケニア・ラオス・ミャンマー・マリ・パキスタン・ベネズエラの8ヶ国から来た10名のJICA研修生の指導による自衛消防訓練が行われました。訓練は学校で火災が発生したとの想定で、児童の避難訓練から始まり、スモークテントを用いた煙中避難訓練では、研修生がスモークテントの入口で、「Low. Low. (低く、低くして)」と身振り手振りを交えて避難の仕方の指導を実施、その後、水消火器を用いた初期

消火訓練と三角巾を用いて肩を怪我した時に腕を吊る応急手当、担架を用いず人の手だけで緊急時に傷病者を搬送する応急搬送法の展示・指導をそれぞれのブースで行ないました。事前に当署で模擬訓練を行った時は、日本語での説明や表現の方法に苦労している様子でしたが、本番ではしっかり児童の心を掴み、最後まで明るくパワフルな訓練指導に目を見張りました。JICA研修生にとっても、児童にとっても大変有意義な消防訓練となりました。(藤田)



福島

FUKUSHIMA

福島自衛消防技術練成会開催

9月14日、新庁舎となって2回目の「福島自衛消防技術練成会」を開催し、管内19事業所から67名の自衛消防隊員が参加されました。

訓練は消火器操法の部と屋内消火栓操法の部で行われ、優勝は、消火器操法の部が朝日放送株式会社(男子の部)と地域医療機能推進機構大阪病院(女子の部)。屋内消火栓操法の部は朝日放送株式会社となりました。

全ての隊員が日頃の訓練成果を遺憾なく発揮され、大いに盛り上がり防火防災意識をさらに高める練成会となりました。(盛山)



北

KITA

合同救急研修会

今年も北区民センターで、地域防災リーダーと女性防火クラブ員の合同救急研修会を9月に開催した。

突然目の前で人が倒れたとき、その場に居合わせた人が何をすべきか?100名余りの方々に、AEDの使用方法を含めた心肺蘇生法を熱心に、そして楽しく学んでいただきました。

救急担当司令の熱血指導に対し、最後は大きな拍手で閉会しました。(内山)



此花

KONOHANA

此花区自衛消防操法競技会開催!

9月13日、此花区の朝日橋公園が熱気に包まれました。今年で45回目を迎える此花区自衛消防操法競技会が開催され、屋内消火栓操法男子の部に11隊22名、同操法女子の部に7隊14名、屋外消火栓操法の部に15隊60名の自衛消防隊が参加されました。

各自衛消防隊とも日頃の訓練成果を存分に発揮され、気迫溢れる訓練に、防火・防災に対する意識の高まりを感じた競技会でした。(田中)



都島

MIYAKOJIMA

「AEDを使えますか?」

9月22日、毛馬桜之宮公園で開催された都島区民まつりの消防コーナーで、人気のミニ消防車、セイバーミライと共に「AEDと胸骨圧迫の体験コーナー」を設けました。「AEDが近くに設置されているのは知っているのですが、使う自信がなくて」と、若い世代の方々が子どもさんと一緒に体験されていました。

一人でも多くの方に「AED」を知って頂くため、これからも積極的に講習を行っていきたく思います。

(中田)



港

MINATO

高齢者見学研修会

高齢者防火推進週間の一環行事として、9月12日、大阪市消防局において港区高齢者の生きがいと健康づくり推進会議会員約50名を対象に見学研修会を実施した。まず、指令情報センターの見学及び大阪消防のビデオ鑑賞後、調査鑑識担当による防火研修を受講。トラッキング火災実験でコンセントから出火するのを目の当たりにされるなど、電気火災の恐ろしさを改めて認識する有意義な研修会となった。(平田)



中央

CHUO

黒い円形物体の正体は!

酷暑の8月。城星学園に黒い円形物体が現れた! その正体は防災体験シアターというドーム型の震災体験用資器材だ。

ドーム内では、全方向から震災映像が映し出されて臨場感ある震災体験ができる。始めは好奇の眼差しで見っていた参加者の方も「一人でも多くの市民に防災意識を持ってほしい」という消防職員の想いを感じ取り、汗だくになりながら真剣に訓練に取り組んで頂いた。その姿に本訓練が大震災の備えの一助となることを切に願う。(矢野)



大正

TAISHO

土曜授業で防災研修実施

当署では、次世代の担い手となる青少年層に防災研修を推進している。9月9日には、中泉尾小学校の土曜授業で、防災体験シアターや火災の実演、他の行政機関と連携して災害弱者の誘導体験や浸水歩行体験を実施した。高学年に対しては、阪神淡路大震災時に経験した様々なジレンマをモチーフに考案されたリスク・コミュニケーションツール「クロスロード」を活用し、活発な意見交換を行った。今後も当事者意識を育む工夫を重ね、より良い防災研修を目指す。(小谷)



西

NISHI

「救」える命を「助」けるために!

8月上旬、管内の解体予定のRC10階建ビルにおいて、他署と合同で実災害対応訓練を4日間実施した。

火災を想定して濃煙中での中隊火災訓練、立体駐車場での事故や墜落事案での救助連携訓練等すべての訓練をブラインドで実施した。

他署隊との連携も深まり、隊員個々の知識技術の向上に繋がった。いつ起こるかかわからない災害に備え、継続して訓練を行っていききたい。救える命を助けるために!(尾崎)



西淀川

NISHIYODOGAWA

火の用心『ハッピー』で普及啓発活動

防火防災意識の普及啓発を目的として「火の用心ハッピー」を作成しました。管内の各地域で実施される夏祭り等でこのハッピーを着用して防火防災意識の高揚を図っております。

地域の皆さんからは好評を博しており、「地域と一体化している」「西淀川消防署が身近に感じられる」「溶け込んでいる」等のご意見をいただいております。今後も、このハッピーを積極的に活用して普及啓発に努めます。(岡藤)



天王寺

TENNOJI

唯一無二☆天王寺ボールペン!

「救急医療週間」の一環として、天王寺区医師会の協力を得て、オリジナルボールペンを作成した。9月10日に行われた天王寺区民祭りでの救急広報活動の啓発品として、このボールペンを配布したところ、区民の皆さんに大好評! 配布予定本数を大幅に超える人気でした。

誰もが持っているボールペン。消防もボールペンのように身近な存在でありたいものです。(内野)



淀川

YODOGAWA

消防功績顕賞

9月5日の救急医療週間に、管内の大阪ガスセキュリティーサービス株式会社が消防功績顕賞を授与されました。

平成26年から教育担当者が応急手当普及員の資格を取得され、指導者として社員に救命講習を行い、現在では全社員の2割を超える方が救命講習を修了され、昨年からは胸骨圧迫を評価するトレーナーシステムも導入され、さらに学んでおられます。

このような積極的な取り組みに対して、今回の授与となりました。(山口)



浪速

NANIWA

浪速の星

8月23日に「第46回全国消防救助技術大会」が開催され、水上の部「水中検索救助」に当署の堤士長が出場し、見事全国1位に輝き、強実章を授与された。

今回で3回目の挑戦であったが、本人曰く「どんなに辛い訓練でも、いつでも現場に行く時の気持ちで取り組み!」という先輩からの熱い言葉が今回の好成績につながったという。今後も浪速の星として他の署員にもこの気持ちを伝えてほしいと願う。おめでとうございます!(美濃部)



旭

ASAHI

本当の地震は体験したくない!

8月26日、旭公園グラウンド及び旭区民センターにおいて、第43回旭区民まつりが開催され多くの家族連れで賑わいました。

住宅用火災警報器に関する相談、ミニ消防車の展示・撮影と起震車による地震体験が体験できる消防コーナーを設けました。昨年に引き続き強震度体験をされたご高齢の方は、「本当の地震は体験したくないね」の一言。(橋本)



東淀川

HIGASHIYODOGAWA

大雨・内水氾濫に備えて

夏休み終わりにあわせて、小学校のプールで水災対策の訓練が行われた。

防災リーダーの呼びかけで集まった多くの住民の方が、大雨にみたてた強圧のシャワーで全身ずぶ濡れとなり、膝上までの内水氾濫を想定しプール内をコースロープに沿って歩行してみるという体験訓練。

大きな河川に挟まれた当区ならではの内容。訓練終了とともに帰宅し着替えをされた皆様方。訓練お疲れさまでした。(北野)



城東

JOTO

城東まつり

8月26日に蒲生公園及び城東区複合庁舎内で「城東まつり」が開催された。初期消火の体験、応急手当や住宅火災予防の啓発、ミニ消防車の展示など、当署が設けた各ブースは沢山の親子連れの列で賑わいを見せた。特に水消火器を使用した初期消火体験コーナーでは子ども達の真剣な眼差しが見られた。この中から本当に未来の大阪市を守る消防士が誕生するかもしれない。(岡野)



東成

HIGASHINARI

東成区震災訓練

9月3日に、当区内の8連合町会が各地域で一斉に震災訓練を行った。地域防災リーダーが中心となり避難所開設訓練や消火訓練、応急救護訓練など各種訓練に取り組み、住民の方が要望された起震車による地震体験や煙中体験など実体験に基づく訓練を実施した。今回の震災訓練を終え、地域住民の方々が自助・共助の重要性について再認識し、防火・防災への意識が一層高まるものと期待する。(辻田)



住之江

SUMINOE

救急救命技術研修会

平成29年度救急救命技術研修会が7月6日及び7日に消防局7階講堂で行われました。参加隊25隊の中、当署が見事優秀隊に選ばれました。プロトコルの遵守、MC内容が具体的である等の評価内容でありましたが、それに加えチームでの情報共有(声かけ)が良くできていたという点が評価されたことは素晴らしいことではないでしょうか。来年1月には大阪府下大会が開催され、当署は大阪市代表として参加する予定です。目指せ最優秀!!(小森)



鶴見

TSURUMI

鶴見の「ルーキー」と「レジェンド」

当署に配属になり半年が経った新人の私は、救助技術練成会に向けて引揚救助訓練のレジェンドとチームを組んでもらいました。連日、親子ほど年齢差のあるレジェンドから、本番さながらのプレッシャーを感じながらの指導を受け、第一目標である事前選考会に挑みました。

結果、基準時間に2秒及ばず予選会出場を逃しましたが、この経験を今後の消防人生に活かせるように、日々精進していきます。(山中)



住吉

SUMIYOSHI

効果的な啓発活動の「土台」

9月19日に女性防火クラブ、大阪ガス、関西電力と合同で、山之内連合町会の高齢者宅を防火訪問しました。

「何かあったら、すぐ電話してや」「いつもおおきに」どのお宅を訪ねても、女性防火クラブの皆さんが日頃から様々な活動を通し親しくされているため、防火啓発にもとても熱心に耳を傾けてもらえました。地域の方々が楽いた「土台」があったからこそ、今回の啓発活動は効果的に実施できたのだと感じました。(辻本)



阿倍野

ABENO

水上の防人を見学

新秋の候の言葉にふさわしい爽やかな日和となった9月8日、定例となっている当区老人クラブ連合会の防火防災研修会を開催した。

この研修会は座学研修と施設見学とを隔年で実施しているもので、本年は施設見学の年にあたり水上消防署の施設見学を行った。

署の概要や水難救助資器材等について丁寧な説明を受けた後、消防艇への乗船など貴重な体験と知識を得ることが出来た。参加者は充実した一日に大満足で帰路につかれた。(小西)



西成

NISHINARI

げんきやで!!今宮で大熱唱

9月16日、高齢者防火推進週間中に元今宮小学校講堂で地域の方々、各団体、行政が参加し「げんきやで!!今宮」が開催されました。ギターによる生演奏で、消防署のフーテンの豊が「男はつらいよ」の寅さんになりきり大熱唱!参加されたお年寄は大盛り上がり。最後にじんわりと胸を打つ寅次郎風のなめらかな口上で火の用心を訴え会場を沸かせました。地域と一体になった有意義なイベントであった。(高田)



東住吉

HIGASHISUMIYOSHI

親子サロン

今年度、子育て中の母親同士の情報交換、交流の場である親子サロンでの講話が複数の連合で企画され、当署も参加している。乳幼児の突発的な事故や急病の対処方法をはじめ、心肺停止時の応急処置等について講話と乳幼児をモデルにした人形で実演。講話時は遊具やおもちゃなどに囲まれ、はしゃいでいる子ども達に負けないように声を出して説明する。その声に驚き今度は泣き出す始末。めげずに頑張っていく。(岡)



水上

SUIJO

水上消防署女性広報担当

救急隊の福田佳那士長は、署の行事や訓練等、事あるごとに署員の活躍する姿等をカメラに収め、当署ホームページへの掲載や玄関ホールでのパネル展示等、広く市民に消防の活動についてPRしています。

特に、先般仙台にて開催された第46回全国消防救助技術大会では、当署から出場する隊員を応援するため現地に行き、一眼レフを首に掛け、撮影機材を詰め込んだリュックを背負い、三脚を片手に臨場感あふれる写真を撮影、ホームページ等にて紹介しています。

この様な彼女の行動は、当署の雰囲気盛り上げ、職場活性化にも繋がっており、先日署長表彰を受賞しました。(関根)



平野

HIRANO

平野消防署開放デー

8月27日、夏休み最後の日曜日に当署及び隣接の平野区民ホールにおいて平野消防署開放デーを開催しました。

今回、開署40周年ということで区民ホールには開署当時の消防車両の写真も展示し、昔を懐かしく思われた年配の方々もおられました。

また、署内で消防車の乗車体験や救助技術訓練を披露しました。

消防署内を見学された家族連れの皆様に笑顔が見られたことで、署員の顔にも笑顔がこぼれた開放デーとなりました。(西浦)





大阪の消防NEWS

東大阪市消防局

「未来の消防士」が訓練



東大阪市消防局は、夏休みを利用して、親子で楽しく防火・防災について学ぶことを目的として、8月18日、19日の2日間、「夏休み子ども消防士体験ツアー」を行いました。

今回のツアーは、受付開始直後から申込みの電話が鳴り続き、わずか1時間ほどで締切るといふ人気ぶりです。子どもと保護者合わせて236名の参加がありました。

ツアーの内容は、防災学習センターの見学、ロープ訓練、放水やポンプ車の乗車体験などを行いました。また、「消防らしいお土産」を持って帰ってもらうため、職員が廃棄処分するホースで手作りした小物入れやキーホルダーも配布、こちらも大好評でした。

参加したお子さんからは「消防車に乗れて楽しかった。大きくなったら消防士さんになりたい」との感想も聞かれました。

将来、参加した子どもの中から本市消防局の職員が誕生することを楽しみに待っています。

豊中市消防局

沖縄市消防本部との職員交流研修



台風や集中豪雨などの風水害への対応力向上のため、先進的な取り組みや技能等を学ぶことを目的とし、平成29年9月12日から17日までの6日間、本市と兄弟都市である沖縄市（沖縄市消防本部）へ本市消防局から職員を派遣しました。

研修内容としては、風水害対策、米軍嘉手納基地空軍消防施設の見学、離島での救急等の要請に対応する海上保安庁巡視船の視察、延べ30万人が来場する全島エイサー祭りの特別警戒に同行させていただくなど、沖縄市消防本部のご協力により、沖縄市ならではの研修が実施されました。特に、風水害対策の研修では、講義のほか、台風18号による風水害事案に出場するなど、短い期間ながら有意義な研修となりました。

沖縄市から本市には、予防業務、警防・救助業務の研修で職員が派遣される予定です。

今後も他市消防本部の先進事例を習得し、職員の知識・技術の向上に努めるとともに、消防本部間の相互交流の推進を図ります。



忠岡町消防本部

救急フェア～2017～



忠岡町消防本部では、救急医療週間のイベントとして、平成29年9月9日(土)オークワ忠岡店において街頭講習を開催しました。

イベントでは、AED・心肺蘇生法体験コーナーをはじめ、応急手当及び心肺蘇生法についてのパンフレットの配布、救急隊員による血圧・血中酸素飽和度測定、消防車・救急車の展示、救急資器材の展示などのブースを設置しました。

当日は、天候にも恵まれ多くの住民が参加し様々な体験を通じ、応急手当の必要性とその手技について学び、参加した親子連れの方から「心肺蘇生法など、応急手当の必要性がわかりました」との声もいただきました。また、忠岡町のゆるキャラ「ただお課長」も応援にかけつけ、子供たちと消防車や救急車の前で写真撮影をするなど、大いに賑わいを見せました。

今後もこのようなイベントを通じ、消防・救急業務をPRするとともに、火災予防及び防災意識の高揚を図っていききたいと思います。

島本町消防本部

第5回大阪府下 警防技術指導会に向けて



島本町消防本部は条令第43名で構成し、小規模な組織となっています。

幅広い消防業務全般に全職員が携わり島本町の安全・安心なまちづくりを目指し、日々業務に励んでいます。

本消防本部では、暑さ厳しい8月初旬より「操作はじめ!」と活気あふれる声が消防庁舎敷地内に響き渡りはじめ、第5回大阪府下警防技術指導会に向けての訓練を開始しました。

今大会から、出場隊員の要件が、実務経験3年未満から5年未満の職員までに変更されました。

出場隊員の幅が広がり、訓練機会の増加、本訓練から改めて学ぶ基本と、さらには先輩からの技術伝承が期待されることから、より質の高い警防活動業務に繋がると確信しています。

昨年度は入賞を逃しており、前大会での悔しさを胸に職員一丸となり、日々の訓練成果を十分に発揮することができるよう大会を目指します。

ホース・防火衣の乾燥用設備について

施設課

はじめに

消防隊員は災害現場での活動等において使用し汚れたホースや防火衣等を次なる災害現場への出場に備えて洗浄し、乾燥させます。ホースや防火衣の乾燥はその特殊性ゆえ、効率的・効果的に行うためには専用の設備が必要であり、各署所に整備を進めています。ここではこれらの設備について紹介します。

ホースの乾燥

ホースを乾燥させるには、約20mの長さのホースを2つ折りの状態にし、中央部を高所に掛けて干します。そのため約7kgの重さのあるホースを、地上10m以上の高さまで吊り上げる必要があります。

水分を含んで一段と重くなったホースを人力で吊り上げる作業は非常に労力を要します。多数のホースを乾燥させるにはこの作業を繰り返すこととなり、これを解消するために多くの署所にホース昇降装置または電動ホイストを設置しています。

ホース昇降装置

大半の署所で採用している装置です。地上でホースハンガーにホースを掛け、リモコンで操作することにより、電動でホースハンガーを上昇させ、一度に多数のホースを吊り上げることができ、また、全ての作業を地上で行うことができます。ホースの吊り上げ可能本数は設置場所によって異なり、当局では10〜32本吊りができる機種を採用しています。



ホース昇降装置

この装置を設置することにより、ホース乾燥のための昇降

作業における安全性の向上と省力化を図っています。平成7年に中央消防署東雲出張所・大正消防署鶴町出張所・東淀川消防署柴島出張所の新築時に初めて採用し、以降順次整備を進め、現在では72署所に

設置しています。

電動ホイスト

ホイストのフックにホースを掛け、リモコン操作により吊り上げ、高所に取り付けられたホース干し用の金具にホースをフックから掛けかえます。地上でホースをフックに

掛ける作業、高所でのホースを掛けかえる作業は人の手により行うため、地上と高所の両方に人員の配置が必要となります。電動での吊り上げのため、人力による吊り上げに比べて労力の軽減が図られています。ホース昇降装置が設置できない狭いスペースでも設置できますが、吊り上げ可能本数が少ないため、多数のホースを干す場合には吊り上げ作業を繰り返すことになりません。当局では現在 14 署所で設置しています。



電動ホイスト

防火衣の乾燥

防火衣はその特殊性により通気性が悪く、自然乾燥では相当の時間を要します。防火衣を少しでも早く乾燥させ、円滑に災害現場での活動ができるよう防火衣乾燥機の整備を進めています。

防火衣乾燥機

電気式の乾燥庫で、庫内のハンガーパイプに防火衣を掛けて起動させ防火衣を乾燥させます。平成15年に生野消防署と城東消防署に初めて整備し、現在18署所に設置してい

ます。その能力や容量は整備した年度により変遷していますが、平成28年度に整備した機種は7〜8着収容可能で、概ね3時間程度で乾燥させる能力を有します。また、乾燥棚が付属しており、手袋や靴も乾燥可能なものとなっています。

近年では消防署所新築時に防火衣乾燥室を設け、室内に設置した乾燥機で室ごと乾燥させる形式となっており、現在13署所に整備されています。

おわりに

ここで紹介した設備は市民の皆様の目に触れることは少ないかもしれませんが、災害現場での活動を終えた隊員は、直ちにホースや防火衣を含めた資器材の点検・整備を行い、市民の安全を守るべく次の災害に備えています。そのためにもこれらの設備を計画的に整備していきます。

文責(今村)



防火衣乾燥機

大阪市火災予防条例の解説(55)

今月号は、大阪市火災予防条例第32条の5について解説する。

〈地下タンクの基準〉

第32条の5 地下タンクにおいて少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う場合における貯蔵及び取扱いの技術上の基準は、前条第1項の規定の例による。

2 少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う地下タンクの位置、構造及び設備の技術上の基準は、前条第2項第3号から第5号まで及び第7号の規定の例によるほか、次のとおりとする。

(1) 地下タンクは、地盤面下に設けられたタンク室に設置し、又は危険物の漏れを防止することがのできる構造により地盤面下に設置すること。ただし、消防法別表第1第4類の危険物を貯蔵し、又は取り扱う地下タンクで、次のアからウまでのすべてに適合するものであるとき

は、この限りでない。

ア 当該タンクの外面がエポキシ樹脂、ウレタンエラストマー樹脂、強化プラスチック又はこれらと同等以上の防食性を有する材料により有効に保護されているか、又は腐食し難い材質で造られていること

イ 当該タンクがその水平投影の縦及び横よりそれぞれ60センチメートル以上大きく、かつ、厚さ30センチメートル以上の鉄筋コンクリートのふたで覆われていること

ウ ふたにかかる重量が直接当該タンクにかからない構造であること

(2) タンク室の構造は、危険物の規制に関する政令第13条第1項第2号及び第14号の規定の例によること

(3) 地下タンクは、堅固な基礎の上に固定するとともに、当該タンクの頂部は、60センチメートル

ル以上地盤面から下にあること

(4) 地下タンクは、厚さ3.2ミリメートル以上の鋼板又はこれと同等以上の強度を有する金属板若しくはこれと同等以上の性能を有するガラス繊維強化プラスチックで気密に造るとともに、圧力タンクを除くタンクにあつては70キロパスカルの圧力で、圧力タンクにあつては最大常用圧力の1.5倍の圧力で、それぞれ10分間行う水圧試験において、漏れ、又は変形しないものであること

(5) 地下タンクには、危険物の量を自動的に表示する装置又は計量口を設けること。この場合において、計量口を設ける地下タンクについては、計量口の直下のタンクの底板にその損傷を防止するための措置を講じなければならぬ。

(6) 地下タンクの配管は、当該地下タンクの頂部に取り付けなければならない。

(7) 地下タンクの周囲に2箇所以上の管を設けること等により当該タンクからの液体の危険物の漏れを検知する設備を設けること

解説及び運用

1 第1項

第1項の規定は、地下タンクで少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う場合の技術上の基準について規定したもので、前条のタンクの基準の例によることとされている。

なお、複数の地下タンクが同一のタンク室、基礎又はふたを共有して設けられる場合は、タンクの容量の合計が指定数量の5分の1以上指定数量未満のときは、1の少量危険物貯蔵取扱場となるが、タンクの容量の合計が指定数量以上となるときは、1の地下タンク貯蔵所として規制を受けることとなる。

地下タンクは、堅固な基礎の上に固定するとともに、当該タンクの頂部は、60センチメートル

2 第2項

第2項の規定は、少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う地下タンクの位置、構造及び設備の技術上の基準について規定している。

(1) 第1号

「危険物の漏れを防止することができ構造」とは、コンクリートで被覆されたタンクをいい、その構造は、危険物の規制に関する規則(以下「危規則」といふ。)第24条の2の5の基準の例による。

また、第4類の危険物を、エポキシ樹脂等により防食措置を施したタンク又はガラス繊維強化プラスチック(FRP)で作られたタンクで貯蔵し、又は取り扱う場合はタンク室に設ける必要はない。

ア エポキシ樹脂等の防食措置の方法は、危険物の規制に関する技術上の細目を定める告示第4条の48に規定するものと同様とする。

イ 「その水平投影面積の縦及び横よりそれぞれ60cm以上大きく」とは、上からみてふたがタンクの水平投影より30cm以上ずつはみ出す形をいう。

ウ 「ふたにかかる重量が直接当該タンクにかからない構造」とは、一般的には鉄筋コンクリート造の支柱又は鉄筋コ

(2)

ンクリート管を使用した支柱等によりふたを支える構造をいい、ふたの重量及びふたにかかる自動車等の荷重に十分耐えるものでなければならぬ。

第2号

ア 地下タンクとタンク室の内側との間に10cm以上の間隔を保ち、かつ、当該タンクの周囲に乾燥砂又は構造用軽量コンクリート骨材(JIS A5000)等を充てんする必要がある。

(3)

イ タンク室は、危規則第23条の4及び危規則第24条の基準の例により、当該タンクの自重、地下貯蔵タンク及びその附属設備並びに貯蔵する危険物の重量、土圧、地下水圧等の主荷重並びに上乗荷重、地震の影響等の従荷重によつて生ずる応力及び変形に対して安全な強度を有し、かつ、防水の措置を講じたものでなければならぬ。

第3号

ア 「堅固な基礎の上に固定する」とは、タンクを直接基礎に固定するのではなく、締め付けバンド及びアンカーボルト等により固定することをい

(4)

い、この場合締め付けバンド及びアンカーボルト等もさび止め塗装が必要となる。

イ 「タンク頂部」には、マンホール部分は含まない。

第4号

ア 「これと同等以上の強度を有する金属板」とは、次式により算出された数値以上の板厚を有するものでなければならぬ。

$$t = \sqrt{\frac{400}{\sigma}} \times 3.2$$

t : 使用する金属板の厚さ(mm)
σ : 使用する金属板の引張強さ(N/mm²)

イ 地下タンクについては、すべて水圧試験が適用され、圧力タンクにあつては最大常用圧力の1.5倍の圧力で、圧力タンク以外のものにあつては70kPaで行わなければならない。

なお、本条及び次条において「圧力タンク」とは、最大常用圧力が46.7kPa以上のものをいう。これは、最大常用圧力が46.7kPa未満の場合、当該圧力の1.5倍の圧力が、前述の圧力タンク以外の水圧試験の圧力(70kPa)を下回るからである。

(5) 第5号

計量口を設ける場合の「損傷を防止するための措置」とは、タンク本体と同じ材質、板厚の当て板を底板に溶接する措置をいう。

(6) 第6号

危険物の漏えいの可能性を極力小さくするため、配管はすべてタンク本体の頂部に取り付けることとされている。

(7) 第7号

液体の危険物の漏れを検知する設備として漏えい検査管を用いる場合、漏えい検査管は、金属管、硬質塩化ビニル管等貯蔵する危険物に侵されるおそれのない材料で造り、地下水位的位置等を考慮して、適切な位置に2箇所以上設けなければならない。

なお、2以上の地下タンクを隣接して設ける場合で、有効に検知できるときは漏えい検査管を共有することができる。

(文責 柿島)

救急医療功労者表彰式典

大阪府長 下会
大阪消防 長

はつめい

昭和57年度より「救急の日」及び「救急医療週間」が制定され、救急医療の普及啓発運動が全国的に実施されている。一般社団法人大阪府医師会では、この「救急の日」を記念し、同年より救急医療功労者の表彰式典が行われてきた。

この救急医療功労者表彰は、長年救急業務に従事し、その功績が顕著であると認められる救急隊員に対し、大阪府医師会長より表彰されるもので、大阪府内各ブロックより推薦された5名の隊員が平成29年9月7日、大阪府医師会館において表彰された。

あわせて、日ごろの救急医療に対し消防機関と連携し、救急業務の推進及び救急隊員の資質向上に大きく貢献した医師に対し、大阪下消防長会会長より感謝状を贈呈した。

以下、受賞された方々の功績を紹介する。

大阪府医師会長表彰

大阪市消防局 福島消防署

福島救急隊

消防司令

大津 和久

大津氏は、22年の長きにわたりベテラン救急救命士として指導的立場で活動を続けているとともに、長年の救急活動から習得した経験をもとに、常日頃から救急隊員の指導に積極的に取り組んでおり、自ら多くの後輩救急救命士を育てている。

救急現場にあつては適切かつ冷静沈着に活動し、困難な事例であっても3度の心肺蘇生を成功させ功績表彰を受けている。また、日々の救急活動においても市民に親切丁寧な対応を行うっており、その接遇は救急隊員の模範となるもので、長年にわたり救急隊員として活躍しながら、有用な人材の育成に尽力するとともに、救急業務に関する企画立案に積極的に携わるなど、当局の発展に寄与した功績は極めて大きい。

和泉市消防本部

和泉市消防署救急隊

消防司令補

藤原 教雄

藤原氏は、救急隊員として22年にわたる経験から救急現場での判断力に優れ、その経験から得た知識を部下職員への確に指導している。その間、多種多様な救急事案に出場し、特に平成21年1月に出場した救急事案では、ショック状態を呈していた50代女性に酸素投与を行うも、搬送途上に容体が急変し心肺停止状態に陥ったため、長年培った蘇生技術を遺憾なく発揮することにより、短時間で心拍を再開させ社会復帰へと導いた。

また、平成10年7月に和泉市救急救命士を拝命後は和泉市救急救命士の運営に積極的に参加しており、定期的に勉強会や症例検討会等を数多く開催し、会員の資質向上に努め、市民に対しては「市民健康まつり」「救急フェア」等を捉えて積極的に救急普及啓発活動を実施するなど、その功績は誠に顕著である。

交野市消防本部

交野市消防署警備2課救急係

消防司令補

小方 英治

小方氏は、長きにわたり警防・救急業務に従事し、市民の安心安全のため日夜職務に精励している。また救急救命士の資格取得後は、特に救急技術向上に努め、現在は救急隊長として活動し、持ち前の責任感と実行力により、救急業務の中心的存在となっている。

平成21年5月、救急救命士の資格を取得し警備2課救急係の救急隊員として救急業務を遂行した。平成27年4月には、消防署警備2課救急係の救急隊長となり、率先して知識及び技術の向上に努め、部下を指導、指揮監督し、公私に渡り若い部下の相談役としても、同僚及び部下から慕われた。また、地域住民や事業所等を対象とした救急講習会を積極的に開催し、普通救命講習等の普及啓発に尽力するなど、その功労は誠に顕著である。

島本町消防本部

島本町救急隊

消防司令補

長野 勝彦

長野氏は、平成13年3月に救急救命士免許を取得し、常に救急活動の責任者として、知識、技術の習得及び自己啓発に努め、その豊富な知識と経験を活用し、救急業務を遂行するとともに

に、的確な判断力と適切な処置及びその行動力により、住民の救命に多大な成果をあげている。

近年においては、平成19年7月に薬剤投与の実施に係る認定、平成22年8月には気管挿管の実施に係る認定を取得し、さらには平成24年10月にはビデオ硬性挿管用喉頭鏡、平成27年8月には拡大2項目（血糖測定・ブドウ糖投与）の認定も取得している。

救急業務の高度化に伴い、救急隊員の技術・知識の向上を図るべく職員研修や日常の訓練を立案し、また、消防団員、一般住民を対象にした普通救命講習に責任者として携わり、日々変化する救急業務の高度化に積極的に貢献するなど、その功績は極めて大きなものである。

大阪狭山市消防本部
ニュータウン出張所救急隊
消防司令補

渡邊 泰司

渡邊氏は、20年以上もの長きにわたり、救急現場において数多くの重症傷病者の生命の危機を回避するための救急救命処置に全力を注ぎ、現在も第一線で活躍し続けている。

また、平成22年4月からは、消防本部救急グループ主査として、高規格救急車や救急資器材等の計画的な整備及び救急救命士の養成に尽力すると

ともに、地域における消防と医療機関との連携強化を図り、救急救命体制の充実に率先して取り組んでいる。

さらに、平成29年4月からは、指導救命士として豊富な経験を活かして、後輩隊員に対し、熱心な指導を行っている、消防本部の救急隊全体のレベルアップ・資質向上を図る中心的存在として牽引し続け絶大な信頼を得ている一方、常に第一線の救急隊員として、技術練磨を続ける姿は誠に顕著であり、他の模範となり、賞揚に値するものである。

大阪府下消防長会会長感謝状

地方独立行政法人

大阪府立病院機構

大阪急性期・総合医療センター

救急診療科

主任部長

藤見聡氏

藤見氏は、長年にわたり救急医療への研鑽を重ね、救命救急医療の実践、救急傷病者の収容、治療に尽力するとともに、医学生、医師、看護師等医療従事者並びに救急救命士等救急隊員への教育、指導、研修を積極的に推進している。自ら勤務する大阪急性期・総合医療センターでは、高度救命救急センターとして広域な医療圏にわたり重篤な救急患者を積極的に受け入れるとともに、多職種との連携強化など、迅

速かつ的確な対処が可能な体制を目指して、より良い改善と抜本的な改革を進め、地域の救急医療を支えている。

また、大阪府救急医療対策審議会専門委員や大阪市域メディカルコントロール協議会委員等として、救急救命士への教育、研修を積極的に推進している。

このように、救急メディカルコントロール体制をはじめとする大阪における救急医療体制の整備、充実及び救急医療の質の向上に果たした功績は誠に大である。



大阪府医師会会長表彰



大阪府下消防長会会長感謝状

〜おわりに〜

救急医療功労者表彰は、長年救急隊員として従事し、多くの命を救った隊員に贈呈されるものである。今回受賞されたら名の方々には、今後も引き続き自らもつ救急救命に対する使命を全うし、自身の知識と技術を存分に発揮して、住民が安心して暮らせるまちづくりに寄与されることを期待する。

港区 株式会社かんでんエンジニアリング 福崎事業所自衛消防隊

また、昭和46年9月に港自衛消防協議会に入会され、各種事業にも積極的に参加され、協議会に円滑な運営にご協力いた



株式会社かんでんエンジニアリングは、昭和15年（1940年）5月21日に設立され半世紀にわたり電気設備のコンサルティングから設計、施工、メンテナンスまでを一貫して行い、近年、益々多様化される要望にも応え、「総合エンジニアリング企業」としての強みを活かし、地域と共に歩むことを会社理念とされています。

自衛消防隊は優良自衛消防隊として平成22年に署長表彰並びに平成23年に消防局長表彰を受賞され、平成28年度自衛消防技術競技会において男女とも最優秀の成績をおさめられ、社員の自主防火・防災に対する強い信念が構築されている事を、署員一同心強く感じています。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
服部 忠義

かんでんエンジニアリング福崎事業所では、危険物を取扱う工場施設を保有し、年1回の大阪市港消防署との合同訓練を通じ、自衛消防隊員を含め全従業員、防災意識の向上に努めています。



女性 防火クラブ だより

生野区

今から1300年ほど前、現生野区の舍利寺あたりに「生野長者」がおり、聖徳太子ともつながりがあったと謂われており、昭和18年に誕生した区名は生野長者にちなんで生野区と名付けられました。

さて、由緒ある生野区で発足した生野区女性防火クラブも26年の年月を経て益々精力的に活動を続け、会員も4,100名の大きな組織となりました。

本年度は6月に施設見学会、女性防火クラブ委員長・推進委員長会議を同日に開催し、いざという時のために日頃から備え、地域ぐるみで防火防災に取り組む姿勢を確認したところです。

その中でも神戸市にある理化学研究所計算科学研究機構の施設見学会では、あらゆる分野で活躍するスーパーコンピューター「京」を見学し、地球温暖化の科学的予測、地震や津波、集中豪雨や台風による被害の軽減について学びました。

世界トップクラスのスーパーコンピューター「京」の研修を通じて、生野女性防火クラブ員は予測される災害において被害の軽減を図るべく、地域社会の安全、安心を目指して活躍しています。





金澤 宏計

参集署 水上
平成27年3月退職

1 消防に入るきっかけ

私は、神戸出身で、小学生の頃近所に居られた神戸市消防局の署長さんから、よく消防の話をお聞きし、なんとなく憧れをもっていました。しかし学生時代、神戸を離れ消防のこともすっかり忘れていました。その後就職活動中に、消防局の採用募集を見て受験しましたが、受験者の多さに驚いて採用されるとは思わずあきらめていました。

しかし幸運にも、採用通知を

2 各種の業務を経験でき、幸せ！

いただきましたが、すでに自動車メーカーの内定をもらっており、迷いました。その時、お世話になった同署長との思い出が頭によぎり、最終的に消防局に決めました。

昭和54年4月に採用され、福島に配置になり3年、昇任して西淀川で1年、予防査察課で4年、主任に昇任して北で2年、人事教養課において人事と監察で5年半、大阪府に2年間出向。消防学校で1年半、予防課で2年半、課名が設備保安課に変更されて1年。その後住之江で3年、東淀川で2年、福島で1年、水上では3年。そして航空隊で1年、最後再度水上で3年間お世話になりました。都合16回の異動を経験し、警防・予防・総務と各種の仕事を体験させていた

できました。その間多くの方々に多大なご迷惑をかけましたが、消防の色々な仕事に従事できたことは幸せであり、感謝しています。

3 失敗は、将来に生かせる！

異動するたびに、新規の仕事を与えられました。最初は、仕事の内容もわからず、不安と焦りでパニックになり数多くの失敗を重ねましたが、そこでの経験が消防人生の糧となりました。

士長時代、塩素ガス漏れ事案に出場し、無線情報等も確認する余裕もなく無謀にも塩素ガスの充滿した作業場に入り、救急搬送され病院のベットの上で、恥かしくかつ悔しい思いをしました。

この経験から、その後の災害現場に出場した場合、刻々と入る無線情報の把握に努め、現場対応に行かせるよう努めました。

又、各職場で予防業務（査察、危険物、設備・建築）についたときは、知識・経験が全くの白紙状態で、冷や汗をかきながら市民から相談をつけていました。

おかげで人の3倍は、勉強させていただきベテラン職員等と話ができることも市民に対してきめの細かい指導ができるようになったと思います。

4 仕事は、一致団結して！

仕事で新規事業に踏み出す時は、ベテラン職員と新米職員が事前に各種情報収集等を行い、知識共有をし、互いに調査・研究に取り組みますが、不安や心配は頭をよぎります。

そんな時、必ずアクシデントは発生するものです。しかし全職員が、一致団結し、その難関に対応すれば、道はおのずと開けると確信します。

5 定年まで無事に迎えられるのは！

無事に定年を迎えられたのは、仕事場では、厳しく又心温まる上司、先輩、同僚又後輩の方々のご指導、ご支援のお蔭であり、家庭内では、家族のサポートが支えとなったと思います。皆様方に感謝しております。

大阪市防火管理協会からのお知らせ

販売図書のご案内



防火・防災管理のススメ
~再講習編~(5訂版)

【内容】

- 甲種防火管理、防災管理の資格を持っている方の再講習のための教材です。
- 防火管理制度、防災管理制度や火災に関する基本的な知識、収容人員、消防用設備等の日常管理や危険物等の安全管理、地震対策、自衛消防組織・自衛消防活動要領及び自衛消防訓練、日常の防火、防災管理業務の具体的実例などを掲載しています。
- 過去5年間の消防法令の改正経過・内容も載せています。

A4判 編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会
監修／大阪市消防局

お問い合わせ・お申し込み先

(一社)大阪市防火管理協会

〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7-11

TEL:06-6741-2130 FAX:06-6712-2130

SCHEDULE

防火・防災管理講習日程表

甲種防火管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：両日とも10:00~16:00

回数	開催日
第31回	平成29年12月 4日(月)、5日(火)
第32回	平成29年12月12日(火)、13日(水)
第33回	平成29年12月18日(月)、19日(火)
第34回	平成29年12月23日(土)、24日(日)
第35回	平成29年12月27日(水)、28日(木)

甲種防火管理再講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：10:00~12:00

回数	開催日
第9回	平成29年12月 3日(日)

防災管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター、大阪市消防局生野分室

講習時間：10:00~15:30

回数	開催日	場所
第15回	平成29年12月10日(日)	大阪市立阿倍野防災センター
第16回	平成29年12月22日(金)	大阪市消防局生野分室

防火・防災管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター

講習時間：両日とも10:00~17:00

回数	開催日
第21回	平成29年12月 6日(水)、7日(木)
第22回	平成29年12月14日(木)、15日(金)
第23回	平成29年12月20日(水)、21日(木)

防火・防災管理再講習

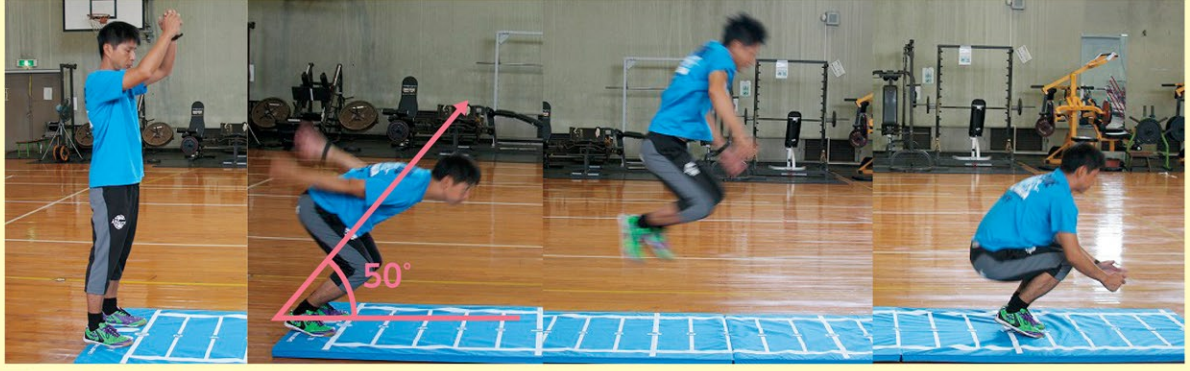
講習会場：大阪市消防局生野分室

講習時間：14:00~17:00

回数	開催日
第9回	平成29年12月 8日(金)

職員体力測定の正しい測定方法及び記録アップのコツ、3か月集中連載の2回目は、立ち幅跳びです。

立ち幅跳び(瞬発力・跳躍力)



- 1 両足を軽く開いて、つま先が踏切線の前端にそろうように立つ
- 2 両足で同時に踏み切って前方へとぶ
- 3 身体がマットに触れた位置のうち、最も踏切線に近い位置と、踏み切り前の両足の中央の位置とを結ぶ直線の距離を計測する

*記録はcm単位。cm未満は切り捨てる *2回実施して良い方の記録をとる

記録はどうでしたか？ (評価は平成28年度分・単位はcm)

評価	男性	女性
平均	216.4	171
5	262以上	215以上
4	232以上262未満	186以上215未満
3	201以上232未満	156以上186未満
2	171以上201未満	127以上156未満
1	171未満	127未満

マットは3mまでしか測れないので、もっと跳ぶ人は後ろから飛んでね！

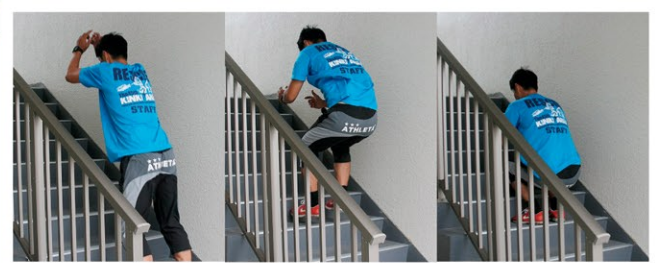
上位記録
 370cm: 37歳男性
 340cm: 33歳男性
 320cm: 男性3名



準備運動と好記録のコツ

準備運動はしっかりと！全身運動です。
 腿上げ、その場両足ジャンプ、
 念入りな屈伸。
 上半身もしっかりと。
 コツ:手を思いきり振る！
 跳ぶときは膝を曲げる
 50度の角度で飛び出す(前ではなく、
 上へ)
 跳んだら素早く膝を引き寄せる

記録アップのトレーニング:階段ジャンプ



助走を付けずに両足踏切りで階段を上る！
 1段飛ばし・2段飛ばし・3段飛ばし・・・
 無理はしないで補助者をつけて行ってください



減塩のすすめ

★塩分と高血圧

塩分を摂りすぎると、血液中のNa（ナトリウム）濃度が高くなり、それが、中枢神経に働いてのどが渇き、水分がほしくなります。水分を摂ると血管に流れる血液量が増え、高血圧になります。

★高血圧の予防には減塩！

毎日の食事の塩分を管理することが重要です。

みなさんは1日にどれくらい塩分を摂取しているかご存知ですか？日本人成人は1日に約11gの塩分を摂取しています。

★減塩目標は6.0g！

日本の高血圧治療ガイドラインでは、1日の塩分摂取量6.0g/日未満を推奨しています。WHOでは、一般成人の減塩目標を5.0g/日未満としています。

★食品中の塩分量を知ろう！

例えば、味噌汁一杯に約2g、ラーメン一杯には約6gの食塩が含まれています。

最近では、食品に栄養成分が表示されていますが、多くの食品には塩分量ではなく、Na量が表示されています。その場合には、

Na量(g) × 2.54 = 食塩量(g) となります。

★減塩目標達成のコツ

1. 新鮮な食材を用いる
2. 香辛料、香味野菜や果物の酸味料を利用する
3. 低塩の調味料を使う
4. 味噌汁は具たくさんで塩分を控えめに
5. 外食や加工食品を控える
6. つけものを控える
7. むやみに調味料を使わない
8. めん類の汁は残す



ゆっくり塩分量を減らすことです。人間は、塩分濃度差が10%以下であれば、味の差を感じないと言われてしますので、1～2週間ごとに塩分を少しずつ減らすと自然に減塩できます。

健康長寿のために、日頃から、減塩をこころがけましょう！

平成29年度親睦会水泳大会

平成29年度親睦会水泳大会が9月14日(木)、「大阪プール」において開催されました。結果については表のとおりとなっております。
また、恒例の宝探しゲームを行いました。盛り上がりました。

○参加状況 21支部 338名



開会式



競技

平成29年度親睦会水泳大会結果一覧表

プログラム	種目	優勝	準優勝	3位
1	50m平泳ぎ (女子及び男子50歳以上)	塩谷 晴彦 (生野)	石川 修二 (西淀川)	林 信司 (北)
	タイム	37秒03	39秒67	41秒17
2	50m平泳ぎ (35歳以上50歳未満)	浦田 寿 (天王寺)	小山 大吾 (住之江)	八木 秀典 (西淀川)
	タイム	36秒63	38秒60	41秒37
3	50m平泳ぎ (35歳未満)	落 大心 (都島)	坪田 真人 (阿倍野)	山内 良一 (生野)
	タイム	33秒38	33秒52	37秒37
4	50m自由形 (女子及び男子50歳以上)	石川 修二 (西淀川)	毛利 正志 (東住吉)	堀北 修 (住之江)
	タイム	30秒63	34秒55	35秒06
5	50m自由形 (35歳以上50歳未満)	西川 暢彦 (水上)	瀧岡 孝史 (住之江)	飯盛 篤志 (港)
	タイム	25秒41	26秒11	30秒23
6	50m自由形 (35歳未満)	堤 勇樹 (浪速)	末松 伸朗 (都島)	阿部 晃大 (水上)
	タイム	25秒69	25秒81	26秒89
7	50m背泳ぎ	大野 真嗣 (平野)	加賀 朋司 (水上)	玉木 力也 (北)
	タイム	31秒35	32秒99	33秒62
8	50mバタフライ	松永 将信 (城東)	藤田 翔平 (西淀川)	菅沼 孝俊 (浪速)
	タイム	26秒53	29秒72	30秒46
9	100m平泳ぎ	難波 拓人 (都島)	櫻本 竜也 (水上)	塩谷 晴彦 (生野)
	タイム	1分12秒99	1分21秒84	1分26秒54
10	100m自由形	勝丸 大地 (都島)	石川 修二 (西淀川)	泉 孝浩 (水上)
	タイム	55秒82	1分8秒19	1分13秒31
11	200mリレー	都島Aチーム	水上Aチーム	西成Aチーム
	タイム	1分42秒73	1分45秒20	1分55秒05
	第1泳者 第2泳者 第3泳者 第4泳者	難波 拓人 吉川 将史 勝丸 大地 末松 伸朗	櫻本 竜也 阿部 晃大 西川 暢彦 加賀 朋司	迫田 尚己 元田 一哉 山本 慎二 石井 万久



表彰



宝探し

火災原因調査

港消防署

2部港梯子小隊

消防司令

城後 勝博

(現：西消防署)

2部田中小型タンク小隊

消防司令補

湊打 清

消防司令補

北野 勝也

(現：鶴見消防署)

駐車場で発生した車両火災の調査活動において、ノートパソコンが出火原因であることを突き止めると共にメーカーを特定し、メーカー、NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）の3者合同で実況見分を消防主体で行い、当該製品に搭載されているリチウムイオンバッテリーが出火原因と判定した。また、火災原因となったバッテリーは6000万個程度製造されているが、現在のところ出火事例はなく、今後類似火災が発生した時に火災原因を最初に究明した資料として活用されることになるなど、火災調査の模範となる活動を行った功績による。

火災原因調査

福島消防署

1部上福島小型タンク小隊

消防司令

布山 桂三

消防司令補

阪本 慎司

消防士長

緒方 督樹

1部上福島中型タンク小隊

消防司令補

森田 佳成

消防司令補

1部福島梯子小隊

消防司令補

奥井 宏章

消防司令補

予防担当

消防司令補

山本 和明

消防司令補

吉川 英将

病院に設置されている自動包埋装置で使用した廃液（キシレン）を廃棄中に発生した火災の調査活動において、廃液の入ったポリエチレン容器に帯電していた静電気が出火原因であることを特定した。また、この結果から再発防止に向け、警防担当と予防担当が連携をとり、病院に対しては危険物の貯蔵、取扱い及び廃棄方法の指導を実施。さらに、メーカーに対しては、装置の改善、廃液の廃棄要領とその危険性について取扱説明書に記載するよう要請し、すべて改善させるなど、出火原因の特定に留まらず、各担当が相互に協力し、粘り強く取り組み、類似火災の発生防止に寄与した功績による。

非番日等における救急活動

東淀川消防署

警防担当

消防士

塩飽幸四郎

平成29年6月17日、大阪府茨木市の南茨木駅で発生した救急事案において、エスカレーターで複数の人が

た功績による。

強実章

授与された者 右から

松井 秀 (西成)
堤 勇樹 (浪速)
榎本 竜也 (水上)
末松 伸朗 (都島)

倒れている状況において、心肺停止状態の傷病者を発見すると共にエスカレーター上では処置困難なため、駅員等に協力を求め、迅速にホーム上に搬出した。直ちにCPRを開始すると共に駅員に依頼していたAEDが到着後、除細動を実施し救急隊に引き継ぐなど勤務時間外においても消防職員としての使命感と知識、技術を発揮し、人命の救護に貢献し



大念佛寺(だいにんぶつじ)融通念仏宗総本山。山号は、諸仏護念院大源山。

創建は大治2年(1127年)とされ、聖徳太子信仰の厚かった比叡山天台宗の僧良忍が四天王寺に立ち寄った際、太子から夢のお告げを受け、鳥羽上皇の勅願により平野に根本道場として創建したのが始まりの日本最初の念仏道場である。

本尊は十一尊天得如来(絵像)。「十一尊天得如来」とは融通念仏宗特有の呼称……。平安末期以降広まった念仏信仰の先駆けとなり、国産念仏門の最初の宗派で日本最初の念仏道場といわれる。その後、火災などで荒廃するが、元禄期(1700年頃)に本山として体裁が整い、現在に至る。融通念仏宗の総本山。

本堂は大阪府下最大の木造建築物で、国宝「毛詩鄭箋残巻」、重要文化財「融通念仏勤進帳」などの寺宝があり、毎年1・5・9月のそれぞれ16日に行われる百万遍会(大数珠くり)は有名。5月1～5日の阿弥陀経万部会(万部おねり)は、壇家代表や稚児行列など総勢百人に続いて、金色の面ときらびやかな衣装で25体の菩薩にふんした僧侶らが、本堂裏から本堂正面に回る橋を、雅楽の音色とともに練り歩くというもの。その後、菩薩が次々と花を供える儀式「菩薩供侍(てんぐ)」が演じられ、参拝者らは手を合わせて先祖供養を願う。同行事は2002年、大阪市の無形民俗文化財に指定された。

永享元年(1321年)に第7世・明が中興して寺域を拡大して、伽藍を整備したが、度重なる兵火に遭い荒廃した。第43世・舜空が大堂を建立した。元禄年間(江戸時代前期)には、第46世・大通が諸堂を再建するとともに、法儀の用具を完備して、融通念仏宗の本山として現在に至っている。境内地は24000㎡(約7300坪)、30余りの堂宇がある。

開祖である良忍上人が京都の大原で修行中、唱える念仏が美しすぎるため近くの滝の轟音が聞き消されてしまうとあったエピソードがあり、現在でもその滝は「音無の滝」として広く知られる。



編集室

紅葉の季節を迎えて、もみじとかえりて、どう違う? と、気になり調べてみた。どちらでも、同じカエデ科カエデ属で、葉の形で区別されている。葉の切り込みの深いのがもみじ、浅いのがかえりて。そうだ。もみじは紅葉すると言いう意味の動詞「もみつ」から、カエデはなんと蛙の手に似ているので「かへる」から変化したとのこと。毎年この時期、近くにある紅葉の美しい公園で、昼食を楽しんでいるが、今年も蛙の手がちらつきそう。(隆)

孫のを観ると時代を感じざるを得ない。皮の材質もそうだが細かい所まで気配りがされていて、手縫いの温かさも伝わってくる。私が使っていたものとは雲泥の差だが、学校から帰ったら、庭から投げつけて遊びに行っていた時代だから、2、3年でポロポロになった。今思えば荒っぽく扱って、申し分けなく思う。十五夜の月を抱きし絹の雲 (高)

今年も、孫のランドセルの話になった。昨年、姉が茶色にしたと聞いた時は驚いたが、ピンク色の縁取りに同色の薔薇があしらわれていて可愛かった。妹も茶色にするらしい。もう60年以上も前に茶色のランドセルを買った事も前にならなかった。孫のを観ると時代を感じざるを得ない。皮の材質もそうだが細かい所まで気配りがされていて、手縫いの温かさも伝わってくる。私が使っていたものとは雲泥の差だが、学校から帰ったら、庭から投げつけて遊びに行っていた時代だから、2、3年でポロポロになった。今思えば荒っぽく扱って、申し分けなく思う。十五夜の月を抱きし絹の雲 (高)

大阪消防

平成29年11月号 第68巻第11号 通巻第812号
発行 大阪消防清風会
企画・監修 大阪市消防局
編集 大阪市消防局企画部企画課内
大阪消防編集部
〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54
TEL 06-4393-6036
FAX 06-6582-2864
Eメール taka-yamano@city.osaka.lg.jp
年間購読料 年間4,560円
(消費税・送本手数料含む)
制作・販売 株式会社サイネックス

若い頃から英語をもっと勉強しておけば良かったとつくづく思う。毎日利用している電車の車内アナウンスは、車掌の肉声ではなく機械式が多く、しかも英訳付きである。「右(左)側のドアが開きます。ご注意ください。」ぐらいまではついていける。乗り換え案内がややこしく、なんという単語が使われているのか聞き取れない。環状線のことを英語でループラインということに気がついたのはかなり経ってからであった。あー情けない。(松)



食べて遊んで癒されて、
極楽の殿堂ここにあり！

12F 難波個室居酒屋 生き意気・さくらさくら

11F～5F サウナ&カプセルアムザ
西日本最大590室！本格派サウナ

展望露天風呂、温泉『萬の湯』

4F ミック&インターネットカフェ アプレシオ
地域最安値！アイ&ソフト食べ放題

3F ビッグエコー・鶴屋亀八・さんばち屋

2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー

1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎

大東洋 なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の
『アムザ 1000』

笑って
見送れ
最終電車！



ご愛読者の皆様へ

大阪消防編集部からお知らせ



毎月、ご愛読頂きまして有難うございます。

本誌は、本年5月号から平成30年4月号までの年間購読という事で発行しておりますが、途中から購読希望のお問い合わせが、数多く参りまして喜んでおります。つきましては、購読希望の方がおられましたら「大阪消防」編集部までご一報頂きますれば幸甚に存じます。

なお、購読中止のご連絡がございまして、自動的に購読の継続をさせていただきます。購読を中止される方は、**3月31日**までに下記編集部までお手数ですがご連絡下さいませようお願い致します。

年間購読料を納めて頂きますので、途中月の購読中止時につきましても、購読料の返戻金はございません。

大阪市消防局 企画部企画課 大阪消防編集部

TEL: 06-4393-6036 Eメール: taka-yamano@city.osaka.lg.jp

〒550-8566 大阪府西区九条南1-12-54

／ 感 ／ 動 ／ 空 ／ 間 ／ 創 ／ 造 ／



Total Space Production



平城京天平祭 ミラーボール



ルツェルン・フェスティバル アーク・ノヴァ松島



大規模合同防災訓練会場テント施設



ヤンマー アグリソリューションセンター

心と心をつなぐ空間づくり

それがトータル スペース プロダクションとしての私たちの役割です。

いかなるイベントもホストとゲストの心がつながってこそ成功といえます。

そのためにはハードからソフトまで、イベントを構成するすべての要素が一つのコンセプトのもとにマネジメントされていなければなりません。

どのようなロケーションであろうともTSP太陽は最適なソリューションで主催者と来場者の期待にお応えします。



【業務概要】

スポーツ競技会・フェスティバル・式典・展示会・レジャー施設・仮設劇場・野外コンサートなど各種イベントの企画コンサルティングから、集客シミュレーション・交通調査・会場計画・サイン・展示ディスプレイ・施設の設計施工・運営管理まで、イベント開催業務をトータルサポートします。



陸上男子800m三武潤選手が入社競技活動をサポートしています。



TSP太陽株式会社

www.tsp-taiyo.co.jp

〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-8-33 Tel.06-6306-3150
〒153-0043 東京都目黒区東山1-17-16 Tel.03-3719-3721



Tokyo Head Office・Osaka Branch

札幌・仙台・福島・茨城・さいたま・千葉・横浜・浜松・名古屋・三重・金沢・福井・岡山・広島・山口・松山・福岡・鹿児島